

Rtoaster 導入概要書

目次

1. <u>Webレコメンド全体概要</u>	2-15
• <u>自動レコメンド アルゴリズム概要</u>	4
• <u>ルールベースレコメンド概要</u>	13
2. <u>Rtoaster導入までの作業</u>	16-83
• <u>レコメンド導入における概算タスク</u>	16
• <u>レコメンド施策検討手法</u>	18
• <u>Rtoasterタグ概要</u>	27
• <u>基本コードの取得・実装</u>	31
• <u>レコメンド場所作成・実装</u>	39
• <u>データ仕様</u>	45
• <u>自動レコメンド設定手順</u>	50
• <u>ルールベースレコメンド設定手順</u>	69
3. <u>Webマニュアル</u>	85
4. <u>効果測定機能</u>	87
5. <u>トラッキング確認方法</u>	98
6. <u>レコメンド確認方法</u>	100
7. <u>Cookie削除方法</u>	103

Webレコメンド全体概要



Rtoaster

action+

Webサイト内レコメンド 全体概要

プライベートDMPから戦略的なアプローチができるルールベースレコメンドと、機械学習による自動レコメンドの両方を行うことができます。

ルールベースレコメンド

狙ったセグメントに対して、
戦略的にコンテンツを訴求



自動レコメンド

Rtoasterのアルゴリズムが
自動で商品をレコメンド



自動レコメンド アルゴリズム概要



Rtoaster

action+

自動レコメンド概要

多様なデータを蓄積したプライベートDMPから、最先端のレコメンドエンジンによって
一人ひとりに最適な商品を自動的にレコメンドします。

データ収集・統合

アルゴリズム選定

Webレコメンドアクション



自動レコメンドアルゴリズム

「自動レコメンド」は、ユーザーの閲覧情報や購買情報、外部から取り込んだデータからユーザーごとに最適な商品を自動的にレコメンドします。アルゴリズムは計17種類あります。

履歴利用

閲覧履歴

「閲覧履歴はこちら」

残留カート内履歴

「カートに入っている商品はこちら」

残留カート内履歴に基づく自動レコメンド（閲覧）

「カートの商品と同時に閲覧されている商品はこちら」

残留カート内履歴に基づく自動レコメンド（購買）

「カートの商品と同時に購買されている商品はこちら」

閲覧履歴に基づくリアルタイムレコメンド（閲覧）

「閲覧履歴と同時に見られている商品はこちら」

閲覧履歴に基づくリアルタイムレコメンド（購買）

「閲覧履歴と同時に関われている商品はこちら」

アイテム軸

アイテム軸自動レコメンド（閲覧）

「この商品を見た人はこんな商品も見えています」

アイテム軸自動レコメンド（購買）

「この商品を買った人はこんな商品も買っています」

アイテム軸外部リストレコメンド

自社で独自に生成したリストを利用して、アイテム毎にレコメンドを表示します

「この商品を見た（買った）人はこれらの商品も見て（買って）います」

ユーザー軸

ユーザー軸自動レコメンド（閲覧）

「あなたの閲覧傾向からおすすめの商品」

ユーザー軸自動レコメンド（購買）

「あなたの購買傾向からおすすめの商品」

ユーザー軸外部リストレコメンド

自社で独自に生成したリストを利用して、ユーザー毎にレコメンドを表示します

「あなたにおすすめの商品はこちら」

その他

閲覧ランキング

「このカテゴリの閲覧ランキング」

購買ランキング

「このカテゴリの購買ランキング」

閲覧後の購買ランキング

「この商品を見た人は最終的にこの商品を買っています」

新着アイテム

「このカテゴリの新着アイテム」

周期性レコメンド

「そろそろこれらの商品はいかがでしょう」

ユーザー軸自動レコメンドとアイテム軸自動レコメンド

- ユーザーに対してアイテムをレコメンドする機能をユーザー軸自動レコメンド、アイテムを基にしたレコメンドをアイテム軸自動レコメンドといいます。



ユーザー軸自動レコメンド

- ▼ユーザーの閲覧／購買傾向を基に、ユーザー一人一人に合わせた「あなたのお勧めの商品はこちら」といったレコメンドを表示します。



アイテム軸自動レコメンド

- ▼商品と併せて閲覧／購買されている商品を学習し、「この商品を見ている（買っている）人はこんな商品も見ている（買っています）」といったレコメンドを表示します。



注意事項

※アイテム学習が始まってから1日以上経過しないとレコメンドは表示されません。

残留カート内履歴に基づく自動レコメンドとリアルタイムレコメンド

🛒 残留カート内履歴に基づく自動レコメンド(閲覧・購買)

▼残留カート内履歴に基づく自動レコメンドでは、カートに投入し、購入に至っていない商品と同時に閲覧/購買されやすいアイテムを表示することができます。



注意事項

※アイテム学習が始まってから1日以上経過しないとレコメンドは表示されません。

🕒 リアルタイムレコメンド(閲覧・購買)

▼リアルタイムレコメンドでは、ユーザーの直近の閲覧/購買履歴と同時に閲覧/購買されやすい商品を表示することができます。
商品閲覧ごとに、表示される商品が変わります。



注意事項

※アイテム学習が始まってから1日以上経過しないとレコメンドは表示されません。

※リアルタイムレコメンドはオプション機能となります。

閲覧後の購買ランキング

▼「閲覧後の購買ランキング」は、商品xを閲覧した後に実際に購入されている商品を購入確率の高い順のランキングでサイト上へ表示することができるレコメンドです。主に、アイテム詳細ページでご活用いただけます。

レコメンドイメージ



商品xを見た後に購入されている商品 購入確率の高い順に表示



商品購入ユーザー：25%



商品購入ユーザー：12%



商品購入ユーザー：7%

注意事項

※アイテム学習が始まってから1日以上経過しないとレコメンドは表示されません。

ユーザー軸外部リストレコメンド

ユーザー軸

ユーザー軸外部リストレコメンド

▼ユーザーに対して、レコメンドする商品を任意で指定するレコメンドをユーザー軸外部リストレコメンドといいます。

▼データマイニング結果（SAPなどを利用）のインポートにより、一人ひとりの顧客に対して購買確率の高い商品を指定しておくことで、個別のおすすめ商品を表示します。

外部データのマイニング

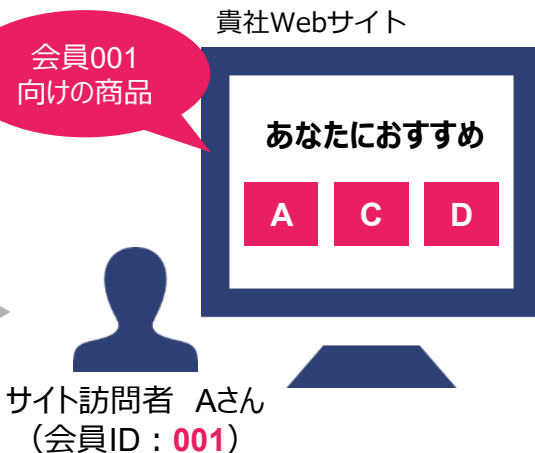


ユーザーごとのおすすめ商品を抽出

	確率 1位	確率 2位	確率 3位	確率 4位	確率 5位
会員 001	商品 A	商品 C	商品 D	商品 M	商品 Y
会員 002	商品 G	商品 H	商品 A	商品 B	商品 D
会員 003	商品 D	商品 C	商品 E	商品 H	商品 X

顧客一人ひとりに対しての個別推奨

Rtoasterへ
データインポート



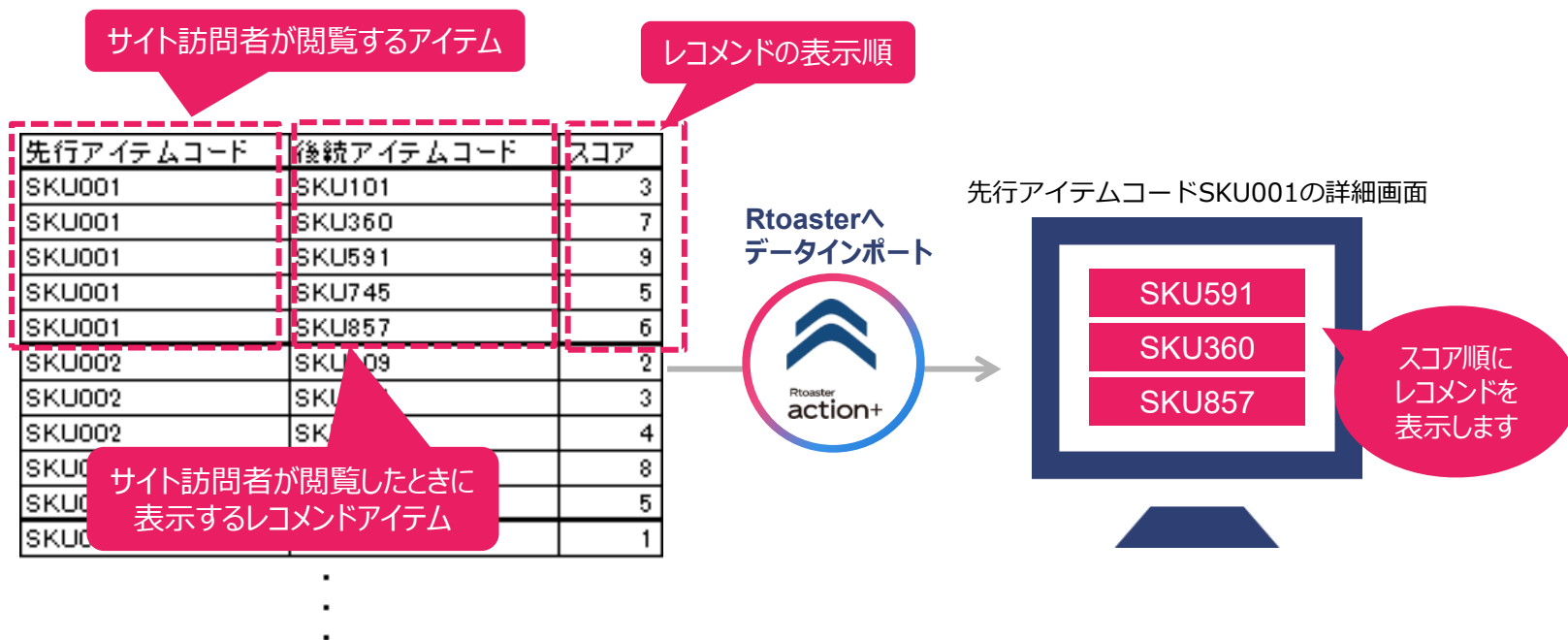
注意事項

※ユーザー軸外部リストレコメンドを使用するには別途オプション費用が必要です。

アイテム軸外部リストレコメンド

アイテム軸外部リストレコメンド

- ▼各商品に対してレコメンドする商品を任意で事前に指定しておき、レコメンドを表示します。
- ▼同時購入によって特典（インセンティブ）の付く商品の表示や、各商品の付属品、オプション品など、特定商品のレコメンドを意図的に実施することが可能です。



注意事項

- ※スコアを設定しない場合、上から順に後続アイテムをレコメンドとして表示します。
- ※アイテム軸外部リストレコメンドを行うには別途オプション費用が必要です。

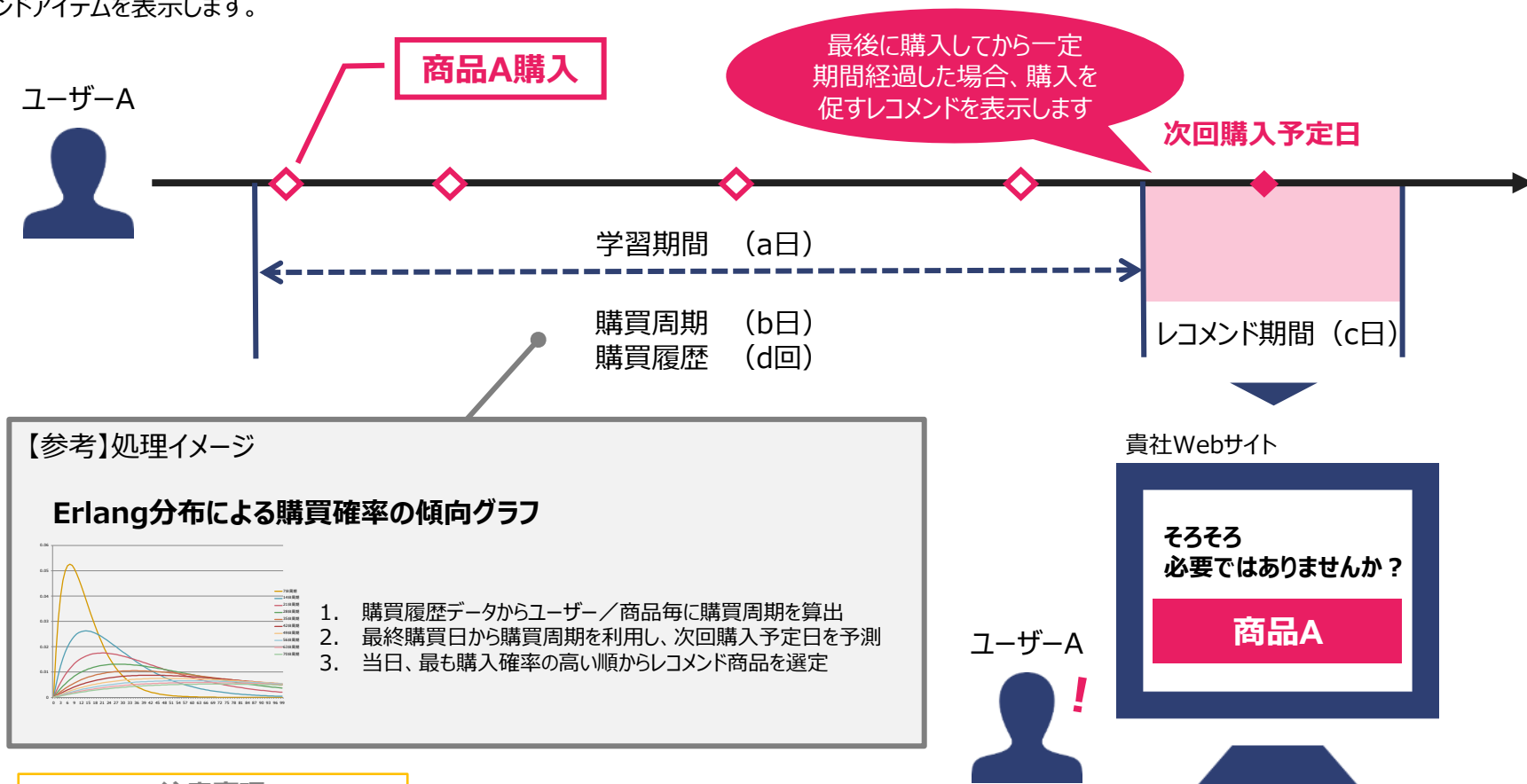
周期性レコメンド

その他

周期性レコメンド

▼消耗品や食品などのリピート商材の場合、Rtoasterはユーザーの購買周期を学習します。

▼Rtoaster管理画面にて、自動レコメンド「周期性レコメンド」を選択いただくことで、ユーザー一人一人の購買周期を加味した最適なタイミングでサイト上へレコメンドアイテムを表示します。



注意事項

※周期性レコメンドを行うには別途オプション費用が必要です。

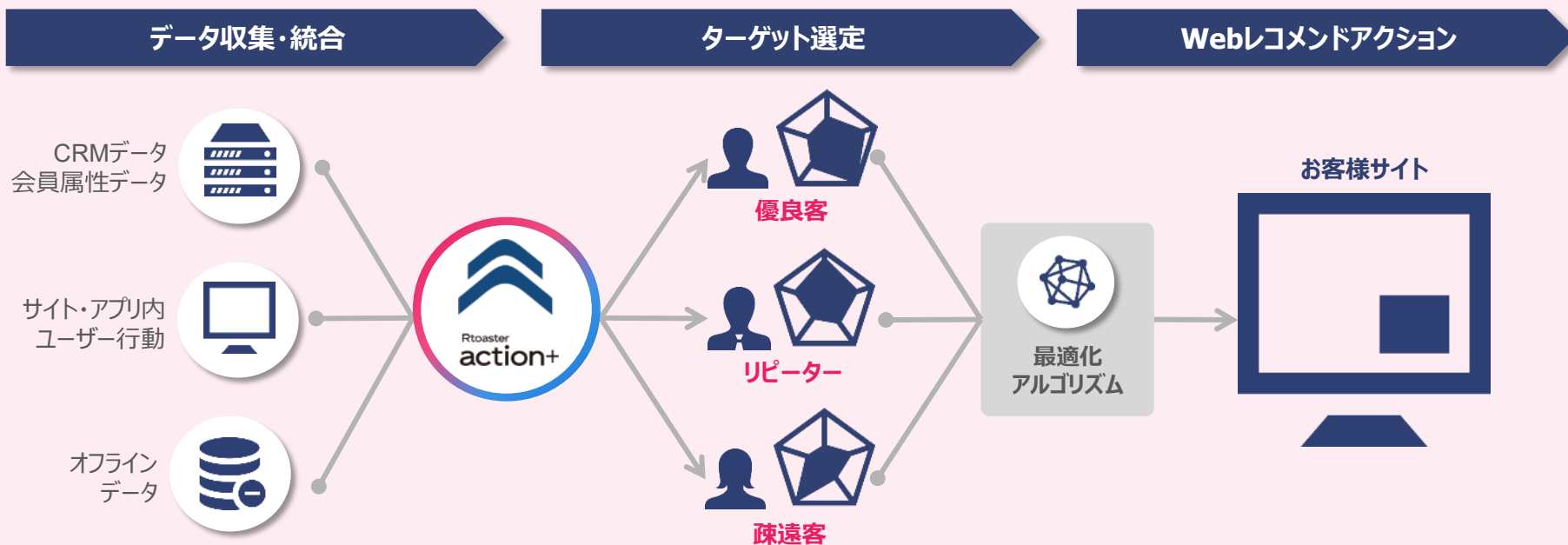
ルールベースレコメンド概要



Rtoaster
action+

ルールベースレコメンド概要

多様なデータを蓄積したプライベートDMPから
ユーザーのセグメントごとに戦略的なレコメンドを実行できます。



ルールベースレコメンドターゲット選定条件

ルールベースレコメンドでは以下の項目で対象ユーザーの条件が設定でき、条件に一致したユーザーに対してレコメンドを出すことができます。機械学習による最適化アルゴリズムで、コンテンツを自動最適化表示することも可能です。



分析セグメント
訪問
属性
スコア
対象URL
リクエストパラメーター
流入
曜日・時間帯
ユーザー環境
地域
外部セグメント
ABテストグループ
ルールセット



広告流入
セグメント

広告LPから流入したユーザーに対してバナーで訴求したい！



セール興味有
セグメント

セールに興味があるユーザーかどうか、ABテストを設定して把握してみよう。



女性・20代
セグメント

女性・20代の属性のユーザーにポップアップを出したい！

Rtoaster導入までの作業 レコメンド導入における概算タスク



Rtoaster
action+

レコメンド導入における概算タスク

Rtoasterご導入における各種概算タスクは以下のとおりです。

	2週目	4週目	6週目
貴社タスク		3.Rtoasterタグの挿入 4. コンテンツ準備 7.テストサイト動作確認	
BPタスク	1.サービス準備 2. 施策検討・設計	5. レコメンド設定 6.テストサイト動作検証	8.本番サイトリリース

No.	区分	タスク内容	作業工数（概算）	備考
0	スケジューリング	☐ スケジュール作成（BP） ☐ スケジュール承認（貴社）		
1	サービス準備	☐ Rtoasterアカウントの発行	2~3 営業日	
2	施策設計・検討	☐ レコメンド施策の検討 ☐ レコメンド場所の確定 ☐ スコアルール設計・レコメンドルール設計 ☐ 自動レコメンド方法検討	2~3 週間	レコメンド実施内容により期間は増減
3	タグ挿入	☐ Rtoaster基本コードの挿入 ☐ Rtoasterレコメンドコードの挿入	2~3 週間	HTMLへのタグ挿入
4	コンテンツ準備	☐ ルールベース用コンテンツ準備（バナー・HTML） ☐ 自動レコメンド用 商品マスタの準備（※1） ☐ HTMLテンプレートの準備（※1） ☐ ユーザー属性データの準備（※2） ☐ 自動アップロード環境の準備（※1・2）	2~3 週間	※1 アイテム自動レコメンド ※2 ユーザー属性データ 利用の場合のみ
5	レコメンド設定	☐ 管理画面設定	3営業日	
6	動作検証・確認	☐ テストサイト動作検証（レコメンド動作の検証）	2営業日	
7		☐ テストサイト確認（レコメンドイメージの確認）	1~2週間	
8	リリース	☐ 本番サイトリリース		

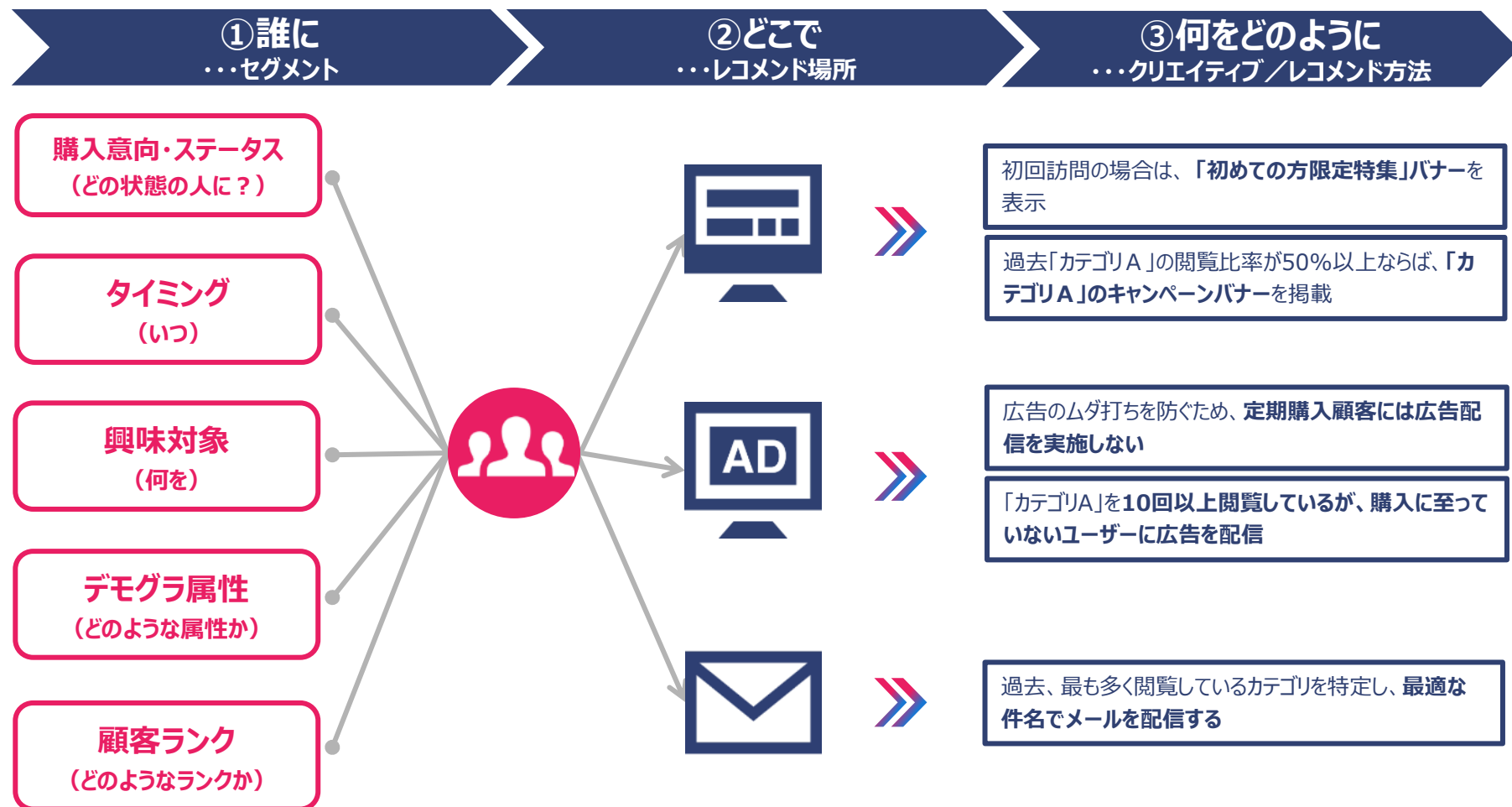
Rtoaster導入までの作業 レコメンド施策検討手法



Rtoaster
action+

ルールベースレコメンド設計の考え方 全体概要

- ユーザーの趣味趣向にあった情報を提供するため、最適なチャネル（場所）、最適なコンテンツを設計します。
- 設計時は「**誰に**」、「**どこで**」、「**何をどのように**」レコメンドするのかを設計します。



ルールベースレコメンド設計の考え方：①誰に

- 誰に対してレコメンドをするのかを決めます。
- その際、ルールベースレコメンドにおいては、ユーザー属性情報、Webの行動情報を設計します。

①誰に
…セグメント

②どこで
…レコメンド場所

③何をどのように
…クリエイティブ／レコメンド方法

ユーザー属性

▼ユーザの属性情報をCSV・TSVファイル形式でRtoasterに取り込みます。

必須項目	任意設定項目						
メンバ値	性別	年代	居住地域	R値（直近購入日）	F値（購入回数）	M値（購入金額）	会員登録日
1000001	女性	20代	東京	0	0	0	1ヶ月以内
1000002	男性	30代	神奈川	1週間以内	2	10000～30000円	2～3ヶ月以内

スコアリング

▼スコアルールで定義したスコアポイントを「スコアグループ」の「スコア項目」に蓄積します。

スコアルール		スコアグループ	スコア項目	ポイント
ルール名	条件			
サービス閲覧（カテゴリA）	リクエストページが「/service/category/a/」から始まる	閲覧カテゴリ	カテゴリA	1加算
サービス閲覧（カテゴリB）	リクエストページが「/service/category/b/」から始まる		カテゴリB	1加算
お問い合わせ確認	リクエストページが「contact.cgi?confirm」に一致する	購入経験	購入確認	1加算
お問い合わせ完了	リクエストページが「contact.cgi?complete」に一致する		購入完了	2加算

ルールベースレコメンド設計の考え方：②どこで

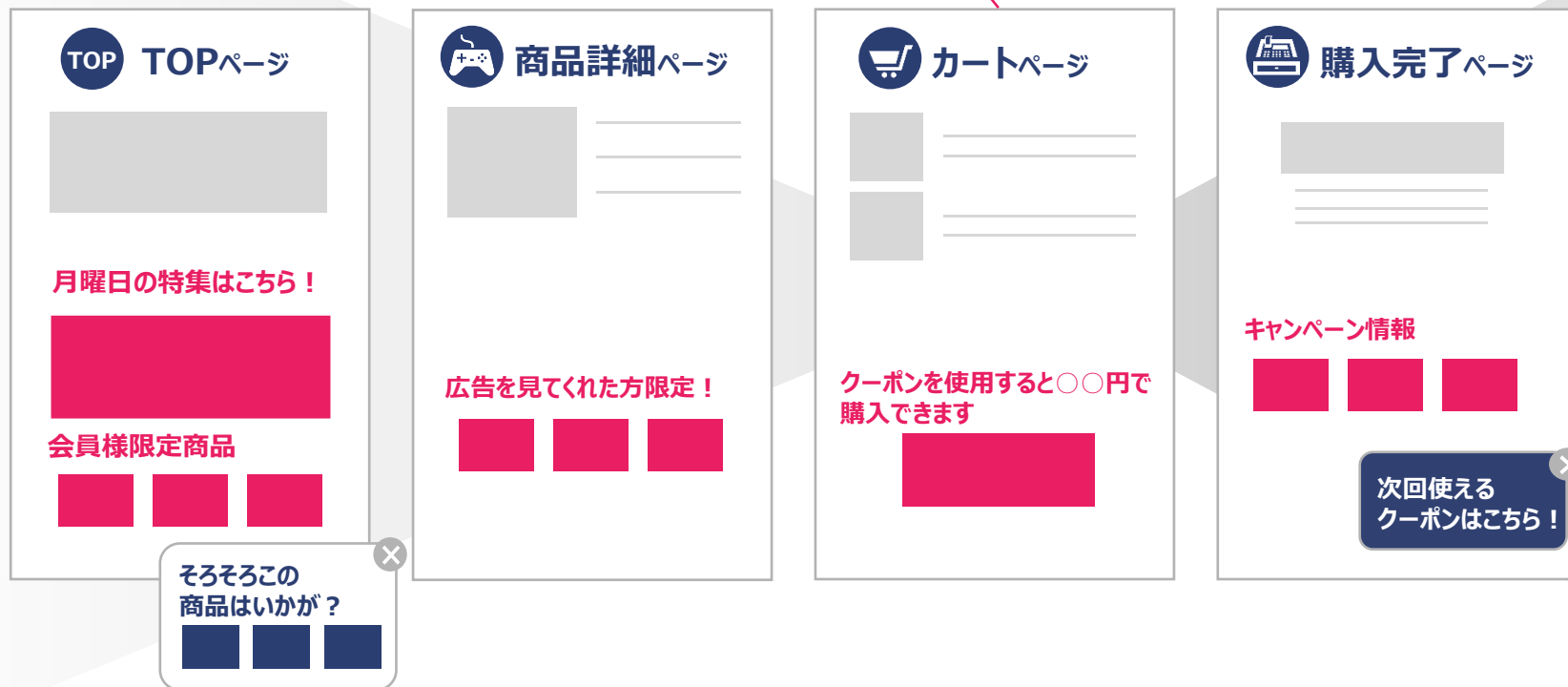
- 設計したレコメンドに対して、どこでレコメンドを実施するか（どのチャンネルで施策を実施するか）を設計します。

① 誰に
…セグメント

② どこで
…レコメンド場所

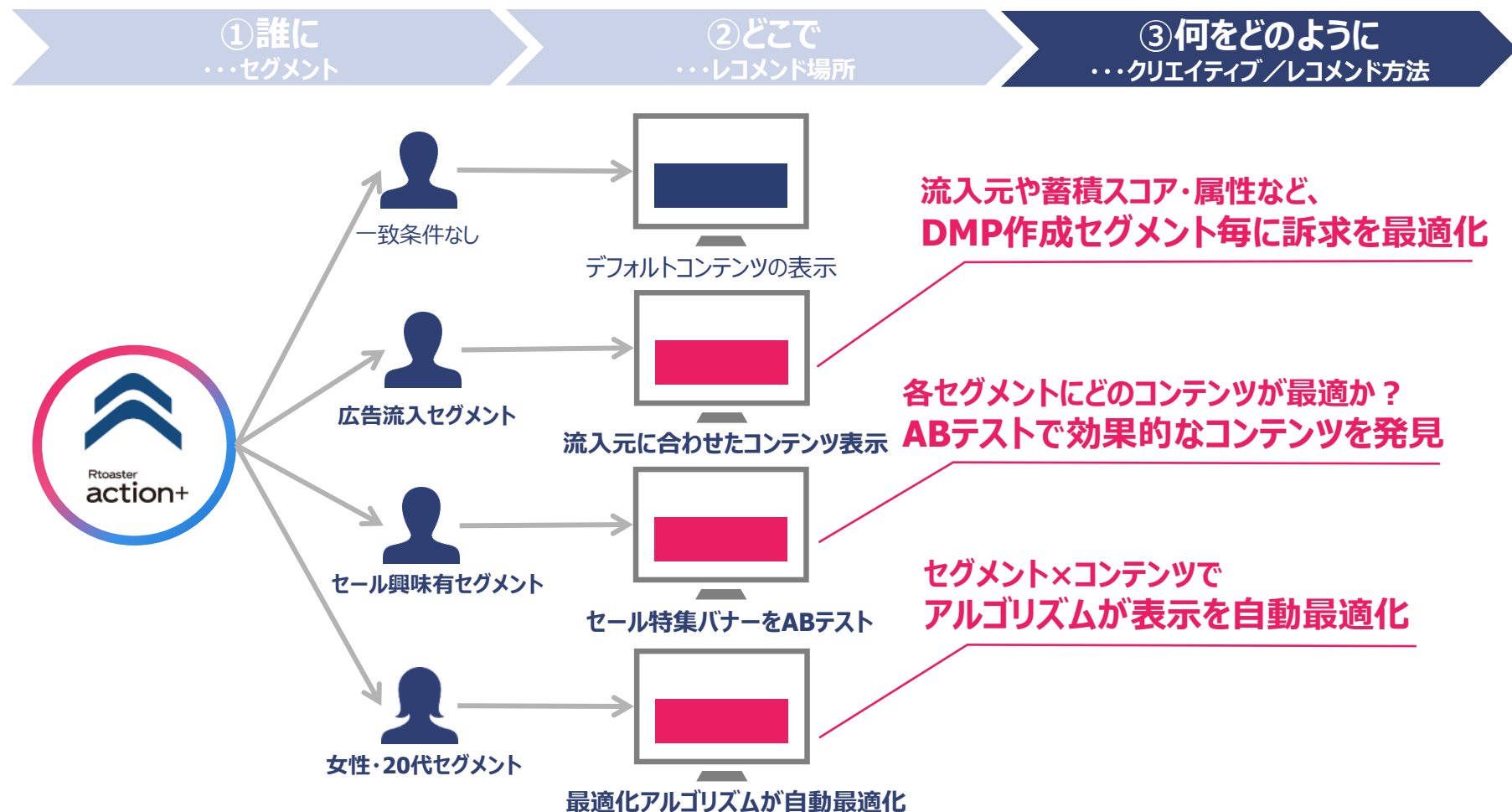
③ 何をどのように
…クリエイティブ／レコメンド方法

設定したセグメントをもとに、最適な場所を決めてレコメンド



ルールベースレコメンド設計の考え方：③何をどのように

- ・プライベートDMPに蓄積したデータに基づき、セグメント毎の表示出し分け、ABテストをおこなえます。
- ・機械学習による最適化アルゴリズムが、コンテンツを自動最適化表示することも可能です。

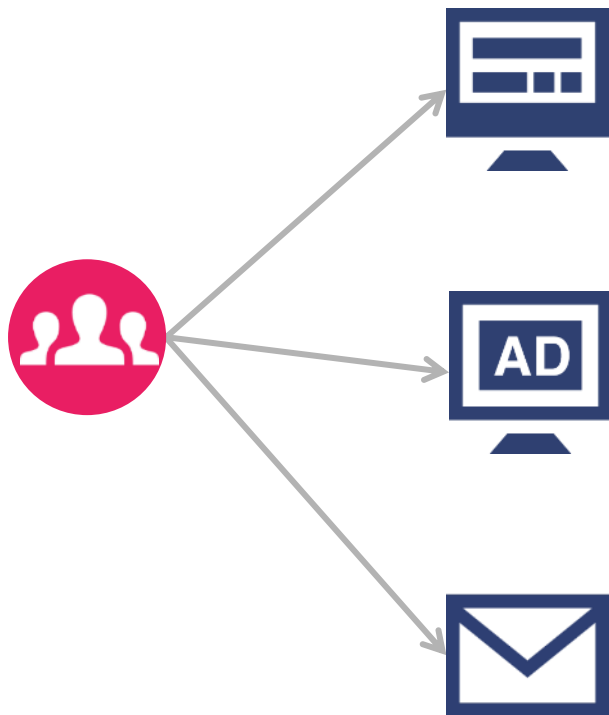


自動レコメンド設計の考え方 全体概要

- 自動レコメンドでは、レコメンド方法の一つ選択し、Rtoasterが計算した内容をもとにレコメンドをします。
- レコメンド方法選択の事前準備として「**（誰に）どこで**」、「**何をどのように**」レコメンドするのかを設計します。

①（誰に）どこで …レコメンド場所

②何をどのように …クリエイティブ／レコメンド方法



ユーザーが見ている商品に近い商品をレコメンドする

新着の商品をレコメンドする

ユーザーの直近の閲覧履歴を配信

ユーザーが最後に購入したアイテムと同時に閲覧・購買されている商品の広告を配信

カートに導入し、購入に至っていない商品の広告を配信

ユーザーが見ている商品に近い商品をメールで配信する

閲覧者数に基づく商品のランキングをメールで配信する

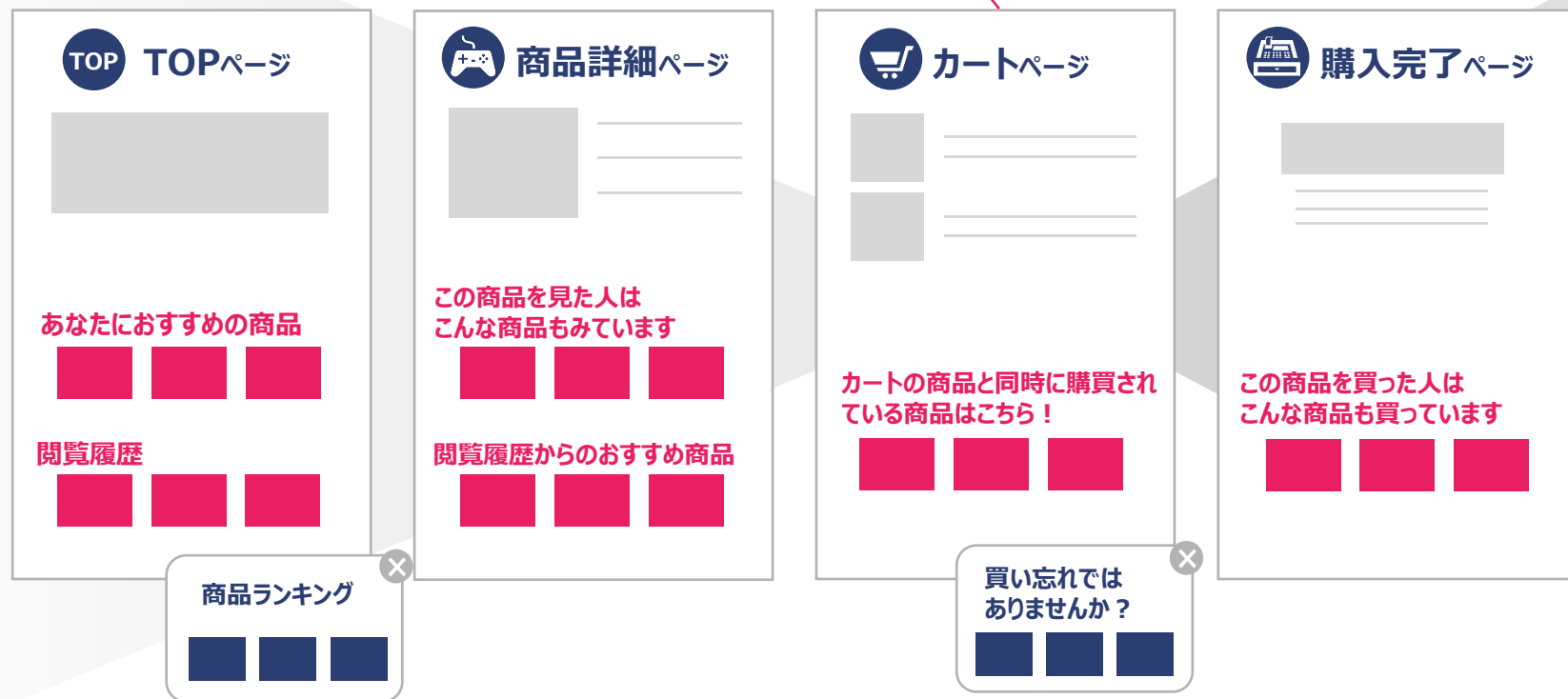
自動レコメンド設計の考え方：①誰にどこで

- 設計したレコメンドに対して、（誰に）どこでレコメンドを実施するか（どのチャンネルで施策を実施するか）を設計します。

①（誰に）どこで …レコメンド場所

②何をどのように …クリエイティブ／レコメンド方法

ページの目的毎に、多彩なアルゴリズムから最適なレコメンド



自動レコメンド設計の考え方：②何をどのように

- ・アイテムマスタを設計し、何を自動レコメンドで表示するかを決めます。

①（誰に）どこで
…レコメンド場所

②何をどのように
…クリエイティブ／レコメンド方法

アイテムマスタ

▼アイテム情報をCSV・TSVファイル形式でRtoasterに取り込みます。

フィールド種別	アイテムコード	アイテム名	グループ	カテゴリ			汎用フィールド			特殊フィールド		
フィールド名 (例)	アイテムコード	アイテム名	新着/セール	大分類	中分類	小分類	リンク先URL	画像パス	アイテム説明分	表示フラグ	開始日時	終了日時
フィールド値 (例)	アイテムコード1	アイテム1	1	A	A-1	A-1-1	http://www.test.com/00001/	/img/00001.jpg	アイテム00001です。	0	2014/1/1 10:00	2014/2/1 9:59
	アイテムコード2	アイテム2	0	A	A-2	A-2-1	http://www.test.com/00002/	/img/00002.jpg	アイテム00002です。	1	2014/2/1 10:00	2014/3/1 9:59
	アイテムコード3	アイテム3	0	B	B-2	B-2-1	http://www.test.com/00003/	/img/00003.jpg	アイテム00003です。	0	2014/3/1 10:00	2014/4/1 9:59
	アイテムコード4	アイテム4	0	C	C-3	C-3-2	http://www.test.com/00004/	/img/00004.jpg	アイテム00004です。	1	2014/4/1 10:00	2014/5/1 9:59

重複不可

※詳細はアイテムマスタのフォーマットをご覧ください（p.47）

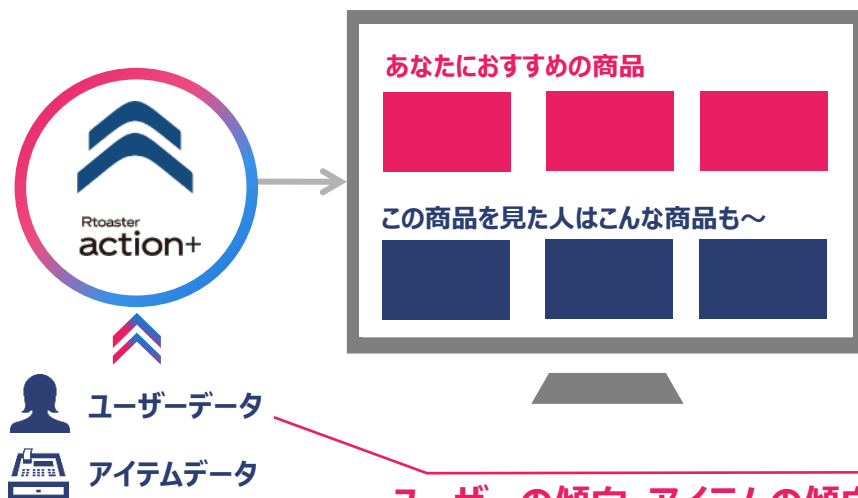
自動レコメンド設計の考え方：②何をどのように

- ・ アルゴリズムを管理画面から選択するだけで簡単にページや場所に合わせた多彩なレコメンドの実施が可能です。

①（誰に）どこで
…レコメンド場所

②何をどのように
…クリエイティブ／レコメンド方法

ページや設置場所毎に管理画面で簡単に
多彩なアルゴリズムから最適なレコメンドを実施



ユーザーの傾向・アイテムの傾向を
自動で学習、レコメンドを生成

選べるアルゴリズム

ユーザーの購入／閲覧商品から
自動レコメンド

アイテムの購入／閲覧傾向から
自動レコメンド

ユーザーの閲覧傾向から
リアルタイムにレコメンド

ユーザーの購買周期から
最適なタイミングでレコメンド

カート残留商品に基づいて
レコメンド

ランキング

閲覧履歴

etc...

Rtoaster導入までの作業 Rtoasterタグ概要



Rtoaster
action+

Rtoasterタグ 一覧

Rtoasterでトラッキング／レコメンドを行うためには**3種類のコード**が必要です。
それぞれのコードを下記の場所に実装してください。

Webページ（HTML）

```
<html>
<head>
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init("RTA-xxxx-xxxxxxxxxxxxx");
Rtoaster.track();
</script>
</head>
```

Rtoaster基本コード

①トラッキングのためのコード

ユーザーのサイト内行動を蓄積するために、基本コード（トラッキングタグ）をトラッキング対象ページに挿入します。

※サイト内全ページに挿入することを奨励します。
※基本コードはRtoasterの他のコードより先に読み込まれる必要があるため、<head>タグ内に設置することを奨励しています。

<body>

-----省略-----

レコメンド場所の指定

```
<div id="rec_area1">...</div>
<div id="rec_area2">...</div>
<div id="rec_area3">...</div>
```

※ポップアップの場合は必要ありません。

-----省略-----

レコメンドコード

```
<script type="text/javascript">
Rtoaster.recommendNow(
  "rec_area1",
  "rec_area2",
  "rec_area3"
);
</script>
```

```
</body>
</html>
```

②レコメンド場所指定コード

レコメンドの属性ID（エレメントID）を実装することで、返されたレコメンドを指定された場所に表示します。

※ポップアップレコメンドの場合は必要ありません。

③レコメンドを呼出すコード

レコメンドリクエスト、レコメンド生成を行います。

※<body>タグの終わりに実装することを奨励しています。

ポップアップレコメンドの場合、レコメンドコードにポップアップコードを追記します。

ポップアップコード例：

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.Popup.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.Popup.register("popup");
Rtoaster.recommendNow("popup");
</script>
```

トラッキングからレコメンドまでの動作詳細

レコメンドまでの各種挙動

Webページ (HTML)

```
<html>
<head>
<script type="text/javascript"
src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init("RTA-xxxx-xxxxxxxxxxxx");
Rtoaster.track();
</script>
</head>
```

Rtoaster基本コード

-----省略-----

レコメンド場所の指定

```
<div id="rec_area1">...</div>
<div id="rec_area2">...</div>
<div id="rec_area3">...</div>
※ポップアップの場合は必要ありません。
```

-----省略-----

レコメンドコード

```
<script type="text/javascript">
Rtoaster.recommendNow(
  "rec_area1",
  "rec_area2",
  "rec_area3"
);
</script>
</body>
</html>
```

Rtoasterシステム

1
トラッキングリクエスト
(同期実行)

3
トラッキング結果の返答

7
レコメンド結果の表示

4
レコメンドリクエスト
(同期実行)

6
レコメンド結果の返答

2
トラッキング/スコアリングの実行
・トラッキングIDの確認
・ドメインの確認
・ユーザーIDが存在しない場合
ユーザーIDの作成
・スコアの更新

5
閲覧履歴、スコア、ユーザー属性に
応じてレコメンドコードを生成

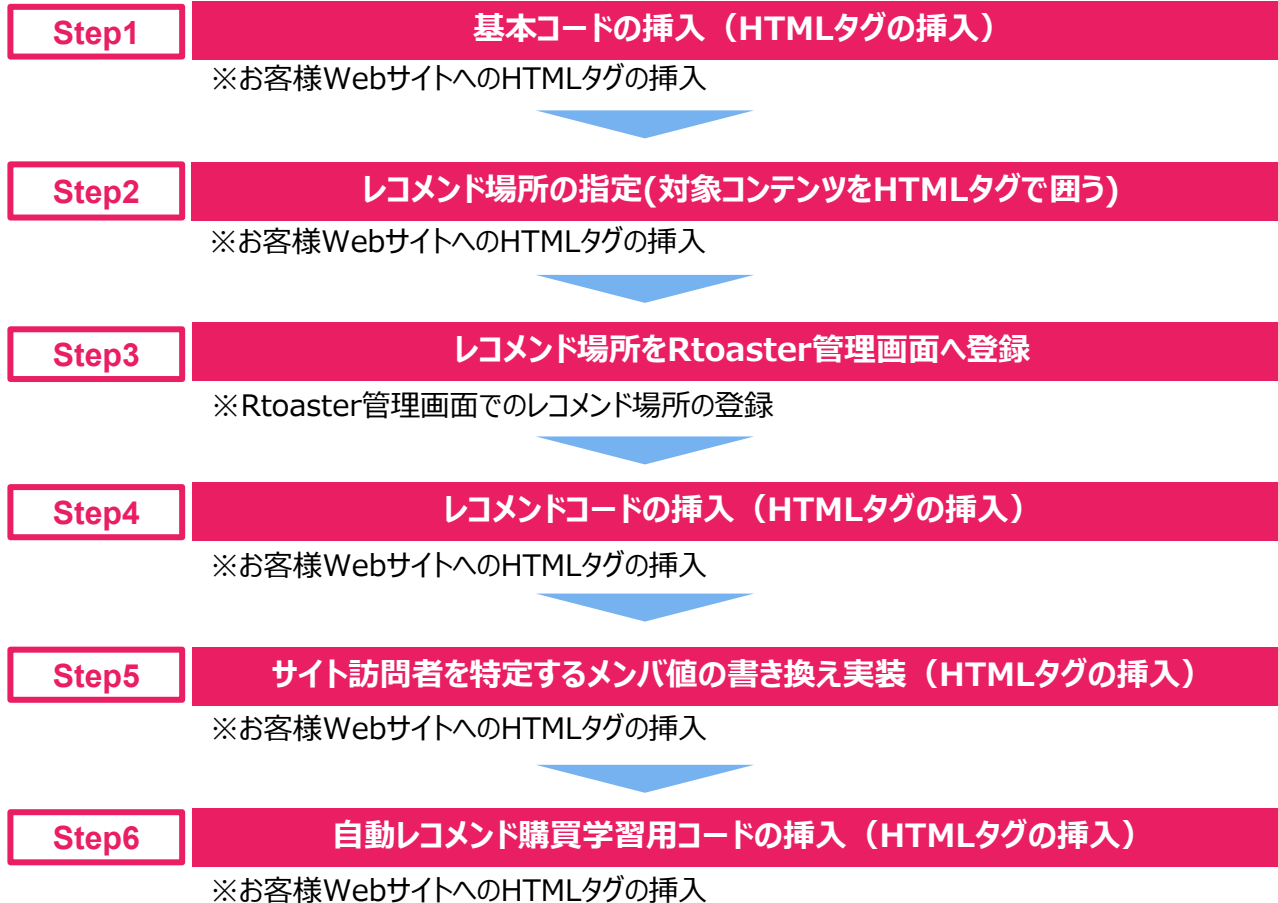
Rtoaster が発行するCookieについて

Rtoasterではご契約ドメインの1st Party Cookieにユーザを識別する為の独自の一意なIDを発行することでサイト訪問者を識別（特定）します。このCookieを利用してユーザを識別し、スコアの蓄積や実行を行います。

Cookie名	値
_rt.uid	36桁のユニバーサルユニークID（RFC4122に準拠しております）
_rt.sid	Rtoasterでレコメンドコンテンツをクリックした際に設定される、レコメンドのセッションIDです。レコメンドのクリックとコンバージョンの判定に利用しています。
_rt.cf	「_rt.sid」と同時に設定されます。レコメンドコンテンツのクリック判定に利用しており、クリック直後のトラッキング時に削除されます。

タグ挿入における一般的な流れ

- 標準的な実装に必要なHTML側への各種タグ挿入について流れは大きく以下のとおりです。
- Step2以外の作業においては、対象となるお客様のWebサイトのHTMLソースコードへの編集が必要となります。



Rtoaster導入までの作業
基本コードの取得・実装



Rtoaster
action+

基本コードの取得・挿入 1/2

Rtoaster基本コードとは

- 「基本コード」は、Rtoasterでサイト訪問者の行動をスコアリングするページ、レコメンデーションが実行されるページなどに挿入するJavaScriptタグです。
(Rtoasterでトラッキング/スコアリングするページすべてが対象)
- 「基本コード」が挿入されていないページへユーザーがアクセスした場合、Rtoaster側ではその情報を取得することができません。
- また、レコメンド・効果測定を行うためには、Rtoasterでレコメンドした後のクリック先（遷移先）のページにも「基本コード」が挿入されている必要があります。

Rtoaster基本コード取得方法

▼管理画面からRtoaster基本コードを取得します。

The screenshot shows the Rtoaster management interface. On the left is a sidebar with navigation icons. The main content area is titled 'Rtoasterタグ取得' (Rtoaster Tag Acquisition). Below the title, there's a section for 'Rtoaster基本コード' (Rtoaster Basic Code). A blue callout box points to the 'その他' (Others) menu item in the sidebar, stating: '①メニューから「その他」→「Rtoasterタグ取得」を選択します。' (① Select 'Rtoaster Tag Acquisition' from the 'Others' menu). Another blue callout box points to the code block, stating: '②本コードをコピーし、サイト内の対象ページの<head>...</head>タグ中に挿入します。' (② Copy this code and insert it into the <head>...</head> tag of the target page on your site). The code block contains the following JavaScript code:

```
<script type="text/javascript" src="//stroustrup.brainpad.co.jp/js/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init( );
Rtoaster.track();
</script>
```

Below the code block, there's a section titled '含めるコードの種類 (オプション)' (Code types to include (optional)). It includes four checkboxes: 'ユーザーID書き換え' (User ID overwrite), '閲覧学習コード' (View learning code), '購買学習コード' (Purchase learning code), and 'カスタム変数' (Custom variable). The 'ユーザーID書き換え' checkbox is currently checked.

※Webレコメンドを実施する場合は、レコメンドコードも必要になります。

基本コードの取得・挿入 2/2

Rtoaster基本コードの挿入方法

- 「基本コード」を挿入する場所は、Webページのヘッダ部分（<head></head>で閉じられる部分）としてください。タグは手動で追加するか、テンプレートまたはインクルードを使用して追加します。

※Rtoaster ASPサービスではこの「Rtoaster基本コード」による当社サーバへの月間コール数によって月額費用が変動します。

基本コードSample

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js" type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init("RTA-XXXXXXXXXXXXXXXXXX");
Rtoaster.track();
</script>
```

Rtoaster.js の設置場所パス名

お客様固有の契約番号

基本コードを実装した段階で、Rtoasterによるユーザー行動トラッキングが始まります。

注意事項

※お客様毎にJavaScript タグの内容は異なりますのでご注意ください。

※<head>…</head>タグ内に base タグが存在するページでは base タグより前、または body タグ内にRtoaster 基本コードを挿入してください。
（上記以外の場所に挿入した場合、Internet Explorer 6 以前のバージョンでエラーが発生する可能性があります）

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換え実装

任意実装

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換え実装について

- 本実装は「ユーザー属性データ利用オプション」、「ユーザー軸外部リストレコメンド」を利用する場合、クロスデバイスでスコアリング結果を共有する場合に必ず必要となります。
- Rtoaster側ではサイト訪問者（ユーザ）を識別するCookieを自動発行します。（ユーザーIDといいます）
- これ以外のお客様側サイトで発行する値（会員IDなど）をユーザを識別するキー値として使用する場合、各ページに埋め込むRtoaster基本コード、Rtoaster.init()メソッド内を書き換える必要があります。
- お客様のWebページへ挿入するRtoaster基本コードの以下の部分を追記します。（レコメンドコードは書き換える必要はありません）

▼Rtoaster基本コード書き換え前

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"
type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init(" RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX ",);
Rtoaster.track();
</script>
```

▼Rtoaster基本コード書き換え後

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"
type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init(" RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX ", "書き換え対象部
分");
Rtoaster.track();
</script>
```

次ページより実装例を記載

注意事項

- ※上記部分に、Rtoasterのメンバ値として使用したい値を記載するようにします。
- ※上記部分は訪問者ごとに一意な値である必要があります。
- ※「ユーザー属性データ利用オプション」、「ユーザー軸外部リストレコメンド」を利用する場合、上記部分の値がインポートするデータと紐付く値である必要があります。
- ※お客様側サイトで発行する値をRtoasterでユーザーを識別するユーザーIDとして使用する場合、セキュリティ上の観点から会員IDなどをそのままの値で利用することは避けてください。
- ※お客様側サイトで発行するユーザーIDは、**UUID（XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXXX という36文字）形式ではない、任意の250文字以下**としてください。

「会員ID」等の値をユーザ識別のキー値とする【方法1】

任意実装

ユーザーIDの書き換え方法の例1:動的にRtoaster.init()の第二引数に会員IDを出力

- お客様のWebシステム側でRtoaster基本コード内の<ユーザーID>の部分（Rtoaster.init()の第二引数）をユーザーIDとして利用したい値（会員IDなど）に動的に出力頂く方法です。
- ユーザーIDがセットされていない、またはセットされたユーザーIDが空文字の場合は、Rtoaster側で自動的に一意なユーザーIDを発行します。
- 有効なユーザーIDがセットされている場合はその値がユーザーIDとして使用され、そうでない場合はRtoasterが発行したUIDがユーザーIDとして使用される為、同一の訪問者でもRtoaster側では別訪問者として認識します。

▼Rtoaster基本コード書き換え後

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js" type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init(" RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX ", "<ユーザーID>");
Rtoaster.track();
</script>
```

注意事項

- ※ 本方法で、ユーザーIDを出力頂くタイミングは、ログイン時等のタイミングのみで問題ありません。
一度、Rtoaster.init()の第二引数にメンバ値を出力頂ければ、以後Rtoasterは対象ユーザーを出力された値で特定し、トラッキングを行います。

「会員ID」等の値をユーザ識別のキー値とする【方法2】

任意実装

ユーザーIDの書き換え方法の例2:貴社発行Cookieを利用する方法

- お客様のWebシステム側でサイト訪問者を特定できるCookieが既に発行されている場合、そのCookie値をユーザーIDとして利用する方法です。
- 下記、Rtoaster基本コード内の<Cookie名>の部分に、ユーザーIDとして利用するCookieのキー名が入ります。
- 指定されたCookie名の値が取得できない、または指定されたCookie名の値が空文字の場合は、Rtoaster側で自動的に一意なユーザーIDを発行します。
- 有効なユーザーIDがセットされている場合はその値がユーザーIDとして使用され、そうでない場合ではRtoasterが発行したUIDがユーザーIDとして使用される為、同一の訪問者でもRtoaster側では別訪問者として認識します。

▼ Rtoaster基本コード書き換え後

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js" type="text/javascript"> </script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init(" RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX ",Rtoaster.Cookie.get("<Cookie名>"));
Rtoaster.track();
</script>
```

商品の閲覧学習コードの挿入

任意実装

留意事項

- 「閲覧情報学習コード」は、**URLからアイテムコードを取得できないサイト**で、商品の閲覧情報を基にした自動レコメンド表示を行う際に必要となります。（URLからアイテムコードを取得できる場合は不要です）
- 「閲覧情報学習コード」は「基本コード」を一部書き換える必要があります。
- 閲覧情報学習コードは、商品詳細ページに該当するページに挿入してください。
※商品詳細ページに該当するページは 学習基本設定で設定する「アイテムコード取得正規表現」に一致する必要があります。

アイテムコードの出力

- 閲覧情報学習コード「Rtoaster.itemメソッド」に「アイテムコード」をセットする必要があります。

挿入方法

- 「Rtoaster.item()」は「Rtoaster.track()」より上部に挿入してください。

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"> </script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.item("閲覧された商品のアイテムコード");
  Rtoaster.track();
</script>
```

商品の購買学習コードの挿入

任意実装

アイテムコードの出力

- ユーザーが購入したアイテムを基にレコメンドを実施するために、購入したアイテムのアイテムコードをRtoasterに認識させる必要があるため、Rtoaster基本コード内のRtoaster.trackメソッドのそれぞれの JSON パラメータに「アイテムコード」をセットする必要があります。

挿入方法

▼購入完了ページのRtoaster基本コード（<head>…</head>タグ内に挿入される）に以下の青字部分を追記してください。

```
<script type="text/javascript"src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXX");
Rtoaster.track(
{
  "subtotal": "小計",
  "item1_code": "商品1の商品コード",
  "item1_price": "商品1の単価",
  "item1_qty": "商品1の個数",

  -----省略-----

  "itemn_code": "商品nの商品コード",
  "itemn_price": "商品nの単価",
  "itemn_qty": "商品nの個数"
});
</script>
```

Rtoaster.track({}) というメソッドのそれぞれの JSON パラメータに「アイテムコード」をセットします。
それぞれの値は「」（ダブルコーテーション）で括り、アイテムが複数ある場合はアイテム数分だけ繰り返し記述してください。
複数アイテムが購入された場合はそのすべてのアイテムをセットする必要があります。

注意事項

- ※「商品コード」は必須項目です。「小計」「単価」「個数」はオプション項目のため、記述されていなくても問題ありません。
- ※「商品コード」は商品詳細ページのURLやタグから取得した「商品コード」と同じである必要があります。
- ※JSON パラメータの終端に「,」を記述しないでください。Internet Explorer でエラーが発生します。
- ※複数商品が投入されている場合は、そのすべての商品の設定を記述してください。（注文完了ページでは、注文完了したすべての商品となります）
- ※出力する「アイテムコード」はRtoasterへインポートされる「アイテムマスタ」のアイテムコードと紐付く必要があります。
アイテムマスタのレイアウトに関してはP.47をご参照ください。

Rtoaster導入までの作業
レコメンド場所作成・実装



Rtoaster
action+

レコメンド場所の作成（管理画面上で作成）

レコメンド場所とは

- レコメンド場所では、webサイト上で実施したいレコメンドのルールとコンテンツを設定することができます。
 - 各レコメンド場所にはID属性を付与します。このID属性を**エレメントID**と呼びます。
- ※ポップアップのレコメンド場所（エレメントID：rtoaster_popup）がデフォルト登録されています。

レコメンド場所作成

▼「アクション・効果測定」>「Web設定」>「Webレコメンド設定」より、レコメンド場所を新規作成します。▼通常レコメンドかポップアップかを選択します。

▼ルールベースレコメンドか自動レコメンドかを選択し、レコメンド場所名とエレメントIDを任意で記入します。

※「ポップアップ → ルールベースレコメンド」を選択した場合は、「コンテンツ種別選択」が表示されるので、「コンテンツを表示」か「アイテム（商品や記事）を表示」を選択します。

※「エレメントID」はレコメンドを実施するレコメンド場所を特定するのに必要なid属性です。

レコメンドコードの挿入 1/2

Rtoasterレコメンドコードとは

- 「レコメンドコード」は、Rtoasterによるレコメンドが実行されるページに挿入するJavaScriptタグです。
- レコメンドが実行されるページには、前述の「基本コード」と「レコメンドコード」の2種が挿入されることになります。
- レコメンド場所が変更・追加されると、「レコメンドコード」も変更されますのでご注意ください。

取得手順

▼Rtoaster管理画面より、レコメンドコードを以下手順で取得します。

Rtoasterタグ取得 [マニュアル](#)

①メニューから
「その他」→「Rtoasterタグ取得」を選択します。

Rtoasterレコメンドコード ?

※下記のコードをウェブサイトのレコメンドを実施するページの</body>終了タグの直前に貼り付けてください。
ポップアップレコメンドを実施する場合、「ポップアップコード」にチェックを入れた状態のコードを貼り付けてください。

```
visual_ydmpptest","MM_questant","MM_airs","MM_track","MM_track2","MM_popup","popup_news","xlisting","rt_feature-slide_text","rt_feature-slide_contact-button","rt_function-slide_text","rt_function-slide_contact-button","rt_price_contact-button","zTest","im_test","popup_drawer","xlis_rd_area","xlis_rd_area2","xlis_rd_popup","logicad_test","externalJS","im_test_popup","scraping_test","geolocation_area","rt_popup_news","rt_schedule","rt_popup_custom","rt_sample","rt_popup_kissy","rt_slidepage_contact","rt_usj_popup","seg_1","seg_7","rt_popup2_new","rt_popup_test","rt_popup_trigger","rt_adblock_test","sp_contact","rt_angfa_pop1","rt_angfa_pop0","rt_angfa_pop2","rt_popup_mp606test","rt_mp606_pop1");
```

</script>

含めるコードの種類（オプション） ?

☐ ポップアップコード ☐ カテゴリ取得コード ☐ 価格フィルタ ☐ 自動レコメンドコード

②レコメンド場所に登録されたエレメントIDが
内包されたレコメンドコードが表示されます。

レコメンドコードの挿入 2/2

Rtoasterレコメンドコードの挿入方法

- 「レコメンドコード」は対象となるWebページの <body>…</body>タグの末尾に貼り付けます。
- 他のWeb ビーコン型のJavaScriptタグやセキュアサイトシール等の取得に時間がかかるタグが存在する場合、該当タグよりも前に（優先的に呼び出させる位置に）レコメンドコードを挿入することを推奨いたします。（レコメンド実行速度に影響します。）
- 「レコメンドコード」を挿入後、前述のStep1、Step2にあるレコメンド場所の変更や追加をすると、「レコメンドコード」が変更・追加が必要となります。

RtoasterレコメンドコードSample

```
<script type="text/javascript">  
Rtoaster.recommendNow("エレメントID1","エレメントID2",…"エレメントIDn");  
</script>
```

レコメンド場所作成の際に指定したエレメントIDとなります。
レコメンド場所が変更・追加された場合はレコメンドコードを挿入し直す必要があります。

※または既存のレコメンドコードにエレメントIDを追加して記述することも可能です
※レコメンドコードを挿入したページに存在するエレメントIDが記述されていればOKです
※当該ページに存在しないエレメントIDが記述されていても動作上問題はありせん

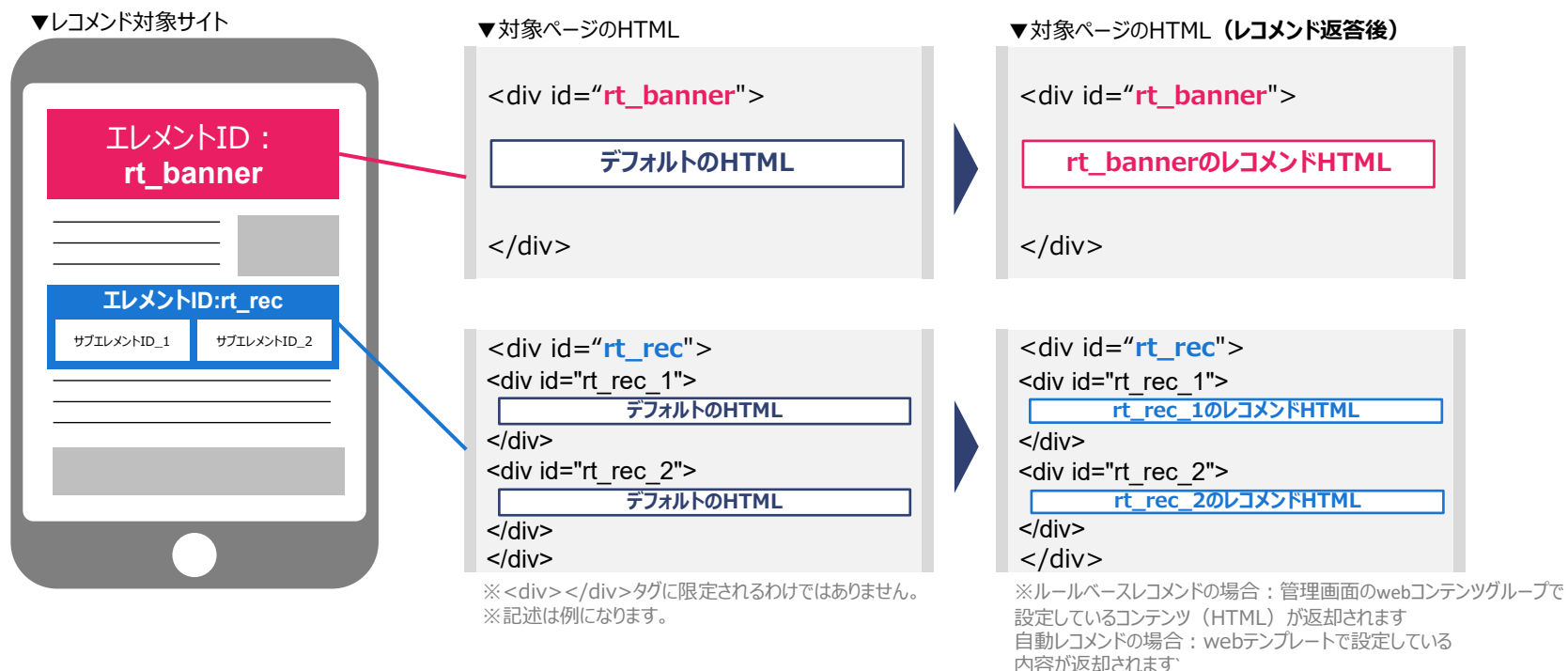
注意事項

- ※ お客様毎にJavaScript タグの内容は異なりますのでご注意ください。
- ※ 基本コードを挿入せずに、レコメンドコードのみを挿入した場合、JavaScriptエラーが発生しますのでご注意ください。

レコメンド場所の指定（対象コンテンツをHTMLタグで囲う）

レコメンド場所の指定方法（対象コンテンツをHTMLタグで囲う/タグにid属性を付与する）

- レコメンド場所の指定は、レコメンドを実行したいWebサイトコンテンツの一部のコンテンツ（テキスト、バナー、フラッシュなど）を <div></div> などのHTMLタグで囲うか、既存のタグにエレメントIDと呼ばれるid属性を付与することで指定します。



注意事項

- 一部のコンテンツ（画像、バナー、ボタン、テキストリンクなど）をレコメンドする場合は、そのコンテンツのみを指定します。
- 複数のコンテンツをまとめて指定することも可能です。但し、Rtoasterの効果測定はこのエレメントID単位となります。

ポップアップコードの実装

ポップアップコードとは

- ポップアップレコメンドを実施するページに実装が必要となるコードです。

取得手順

- ポップアップレコメンドの場合、レコメンドコード取得の際にポップアップにチェックを入れます。
- レコメンド場所の指定は必要ありません。

Rtoasterレコメンドコード ?

※下記のコードをウェブサイトのレコメンドを実施するページの</body>終了タグの直前に貼り付けてください。
ポップアップレコメンドを実施する場合、「ポップアップコード」にチェックを入れた状態のコードを貼り付けてください。

ポップアップ (デフォルト)

②ポップアップコードを含めたレコメンドコードを取得します。

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.Popup.js"></script>  
<script type="text/javascript">  
  Rtoaster.Popup.register("rtoaster_popup");  
  Rtoaster.recommendNow("rtoaster_popup");  
</script>
```

含めるコードの種類 (オプション) ?

☒ ポップアップコード ☐ カテゴリ取得コード ☐ 価格フィルタ ☐ 自動レコメンドコード

①ポップアップコードにチェックを入れます。

Rtoaster導入までの作業 データ仕様



Rtoaster
action+

ユーザー属性データのフォーマット

準備必要なデータについて

- ルールベースレコメンドでユーザー属性データを利用したレコメンドルールを作成する際に必要となります。

ユーザー属性データSample

▼以下イメージのユーザー属性データをCSV・TSVファイル形式でご準備ください。

必須項目		任意設定項目					
ユーザーID	性別	年代	居住地域	R値（直近購入日）	F値（購入回数）	M値（購入金額）	会員登録日
1000001	女性	20代	東京	0	0	0	1ヶ月以内
1000002	男性	30代	神奈川	1週間以内	2	10000～30000円	2～3ヶ月以内
1000003	女性	40代	北海道	2～4週間以内	1	～10000円	4～6ヶ月以内
1000004	女性	不明	大阪	1～3ヶ月以内	3	30001～50000円	7～1年以内
1000005	不明	60代	愛知	0	0	0	2～3ヶ月以内

注意事項

※各ファイル形式はRFC-4180 に準拠する必要があります。

※任意設定項目はRtoaster管理画面で定義した任意のフィールド名と値になります。

（定義していないフィールド、値があるとアップロード時にエラーとなります）

※ユーザー属性データのユーザーIDとサイト側でサイト訪問者を識別しているユーザーIDは紐づいている必要があります。

※ 属性名・属性値ともに上限 50文字までとなります。（大文字・小文字の区別なし）

※属性項目の上限数は25、各項目あたりの属性値の上限数は100となっております。（別途オプションご契約で増加可能）

※フィールド名：「ユーザーID」は固定です。

アイテムマスタのフォーマット

アイテムマスタの準備

- 自動レコメンド用の表示要素として、アイテムマスタをご用意して頂く必要があります。

アイテムマスタSample

- 以下イメージのアイテムマスタをCSV・TSVファイル形式でご準備ください。

フィールド種別	アイテムコード	アイテム名	グループ	カテゴリ			汎用フィールド			特殊フィールド		
フィールド名 (例)	アイテムコード	アイテム名	新着/セール	大分類	中分類	小分類	リンク先URL	画像パス	アイテム説明分	表示フラグ	開始日時	終了日時
フィールド値 (例)	アイテムコード1	アイテム1	1	A	A-1	A-1-1	http://www.test.com/00001/	/img/00001.jpg	アイテム00001です。	0	2014/1/1 10:00	2014/2/1 9:59
	アイテムコード2	アイテム2	0	A	A-2	A-2-1	http://www.test.com/00002/	/img/00002.jpg	アイテム00002です。	1	2014/2/1 10:00	2014/3/1 9:59
	アイテムコード3	アイテム3	0	B	B-2	B-2-1	http://www.test.com/00003/	/img/00003.jpg	アイテム00003です。	0	2014/3/1 10:00	2014/4/1 9:59
	アイテムコード4	アイテム4	0	C	C-3	C-3-2	http://www.test.com/00004/	/img/00004.jpg	アイテム00004です。	1	2014/4/1 10:00	2014/5/1 9:59
	アイテムコード5	アイテム5	1	A	A-3	A-1-2	http://www.test.com/00005/	/img/00005.jpg	アイテム00005です。	1	2014/5/1 10:00	2014/6/1 9:59
	アイテムコード6	アイテム6	1	A	A-3	A-1-2	http://www.test.com/00006/	/img/00006.jpg	アイテム00006です。	0	2014/6/1 10:00	2014/7/1 9:59

アイテムコード
(重複不可)

グループフィルタ機能：有効の場合、必須
カテゴリフィルタ機能：有効かつカテゴリ1のフィールド名を設定する場合、必須
価値／価格／カテゴリ2～5はフィールド名を設定する場合、必須

汎用フィールドは任意に指定できます。

注意事項

- ※各フィールド名は自由に設定できます。フィールド名には日本語も利用可能です。(特殊フィールドのフィールド名は変更できません)
- ※各ファイル形式はRFC-4180 に準拠する必要があります。
- ※アイテムマスタデータの取り込みに関しましては特に禁止文字はございません。
- ※値に改行や「,」が入る場合はフィールドを「"」で括って頂ければ問題ありません。また、「"」が値として入る場合は「""」となります。
- ※アイテムマスタデータの内容を利用してレコメンドする際、HTMLで使用できない文字を文字実態参照へ変換する処理は行わない仕様となっております。
- ※その為、例えば「<」は「<」、「>」は「>」など、HTMLで使用できない文字は登録前に事前に変換してください。
- ※各項目には以下の入力制限があります。アイテムデータインポート時にご注意ください。
 - アイテムコード / グループ：100 文字以内
 - アイテム名 / カテゴリ：250 文字以内
 - 汎用フィールド：2,000 文字以内
 - 価格：0 ～ 999,999,999.99
 - 価値：0 ～ 999,999,999.99
- ※Rtoaster ではUnicode で情報の管理を行っているため、文字数の入力制限に全角・半角の区別はありません。(純粋な文字数での制限となります)

アイテムマスタ：各種フィールド・特殊フィールド仕様詳細

▼通常フィールド レコメンドの学習・フィルタリング・表示要素に使用

フィールド種別	入力内容	備考	空白
アイテムコード	商品を識別するためのコードを格納するフィールド名を設定します。	このフィールドは必須項目です。	不可
アイテム名	商品の名称を格納するフィールド名を設定します。	このフィールドは必須項目です。	不可
グループ	商品のグループを格納するフィールド名を設定します。	機能：有効の場合、このフィールドは必須項目です。	不可
カテゴリ1	商品のカテゴリを格納するフィールド名を設定します。	機能：有効かつカテゴリ1のフィールド名を設定する場合、このフィールドは必須項目です。	不可
カテゴリ2～5	商品のカテゴリを格納するフィールド名を設定します。	自動レコメンドのカテゴリフィルタ2～5をご利用の場合は、必ず設定してください。 最大5つのカテゴリを設定することができます。	不可(※)
価格	商品の価格を格納するフィールド名を設定します。 ※アイテムの値段、単価など	自動レコメンドのアイテム価格フィルタをご利用の場合は、必ず設定してください。	不可(※)
価値	商品の価値を格納するフィールド名を設定します。 ※アイテムの値段、単価など	自動レコメンドのアイテム価値フィルタをご利用の場合は、必ず設定してください。	不可(※)
汎用フィールド	上記のフィールドとは別に商品に関する任意の情報を格納するフィールドを設定します。	汎用フィールドは10個まで設定可能です。 お客様の商品データに合わせてご利用ください。 例：アイテム画像URL へのパス・アイテムのコメントや説明文	可

▼各種特殊フィールド レコメンド表示有無の制御に使用

※フィールド名を入力する場合、空白不可
値が存在しない場合は、「NULL」をご入力ください

フィールド名	内容	設定値	空白
削除フラグ	商品が削除されていることを示すフィールドです。	存在する場合（レコメンドする場合）：	0
		削除されている場合（レコメンドしない場合）：	1
在庫フラグ	商品の在庫の有無を示すフィールドです。	在庫がある場合（レコメンドする場合）：	1
		在庫が無い場合（レコメンドしない場合）：	0
フィールド名	内容	設定値	空白
無視フラグ	自動レコメンドの結果として表示しない（無視する）ことを示すフィールドです。	表示する場合（レコメンドする場合）：	0
		無視する場合（レコメンドしない場合）：	1
表示フラグ	自動レコメンドの結果として表示することを示すフィールドです。	表示する場合（レコメンドする場合）：	1
		表示しない場合（レコメンドしない場合）：	0
フィールド名	内容	設定値	空白
開始日時	商品のレコメンド開始日時のことを示すフィールドです。	YYYY/MM/DD hh:mm 例) 2013/01/01 09:00 hh:mmは任意設定になります。 hh:mmを指定する場合はYYYY/MM/DD の後に 半角スペースを入れてください。	可
終了日時	商品のレコメンド終了日時のことを示すフィールドです。	YYYY/MM/DD hh:mm 例) 2013/01/01 09:00 hh:mmは任意設定になります。 hh:mmを指定する場合はYYYY/MM/DD の後に 半角スペースを入れてください。	可

注意事項

- ※削除フラグ、在庫フラグのどちらか一方のフィールドがアイテムマスタデータ内に存在すれば、レコメンド結果に反映されます。
- ※無視フラグ、表示フラグのどちらか一方のフィールドがアイテムマスタデータ内に存在すれば、レコメンド結果に反映されます。
- ※レコメンド方法が「アイテム閲覧履歴の表示」の場合は、削除フラグ、在庫フラグ、開始日時、終了日時にかかわらず、商品の表示が行われます。

マスタデータの自動インポートプログラム

- 作成したユーザー属性データ・アイテムマスタ（CSVまたはTSVファイル）をRtoasterの管理画面から手動でインポートできますが、バッチ処理で自動的にRtoasterへインポートされたい場合弊社から自動アップロードツールをご提供させていただきます。

▼必要環境

- Javaが動作する端末（PCでもサーバでも可）・・・以下「インポート端末」とします。
- インポート端末が作成したアイテムデータ（CSV・TSVファイル）を参照できること。
- インポート端末からRtoasterのASPサーバへアクセスできること。（HTTPSによるSSL通信）

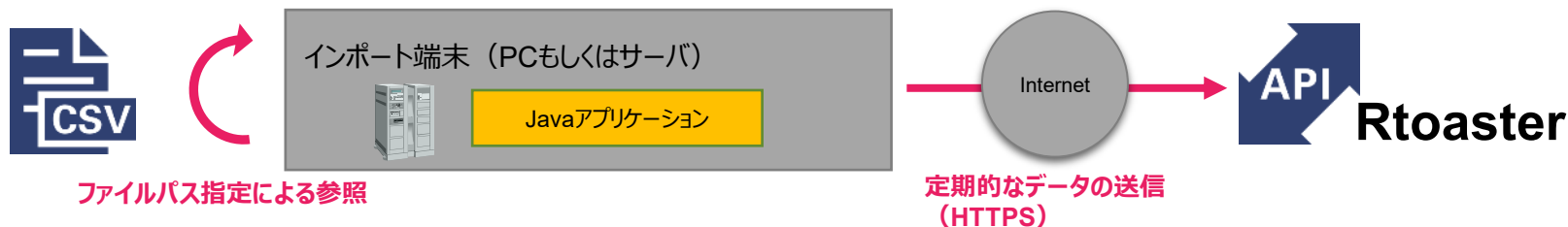
▼提供アプリ

- 当社からお客様のインポート端末へJavaアプリケーションを納入いたします。
（このJavaアプリケーションはRtoasterのAPI経由でファイルデータを送信します）

▼設定事項

- Javaアプリケーションをインストールした後、作成した属性・アイテムマスタ（CSV・TSVファイル）の**ファイルパス**を指定します。
- お客様にて、このJavaアプリケーションを定期的に行う設定をします。
（CRON登録もしくはWindowsの場合はタスク登録）
（アイテムデータの送信タイミング／送信頻度はお客様側にて任意にご指定ください）

ファイルパスはUNCパスは不可です。
（¥¥・・・¥・・・）
ネットワークドライブを指定した形式
（c:¥・・・¥・・・）として指定ください。



注意事項

- ※RtoasterのASPサーバのIPアドレスは別途ご連絡いたします。（IPアドレスによる通信制御を行なう場合にご利用ください）
- ※設定にあたってはお客様のRtoasterお客様契約番号、管理画面へのログインパスワードが必要になります。
- ※データの送信は毎回全件データを更新するか、差分データのみを送信するか、選択可能です。

Rtoaster導入までの作業 自動レコメンド設定手順



Rtoaster
action+

自動レコメンド 設定の流れ 概要

- 自動レコメンドの設定手順は以下になります。この資料は以下の手順に沿って説明いたします。



ユーザー行動学習設定

① 行動学習設定

② アイテム学習設定

③ アイテム情報登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- 基本コードはユーザー行動のトラッキング、レコメンドの呼び出し／表示のために必要なコードです。
 - Rtoaster管理画面から基本コードを取得し、Rtoasterを使用する全ページに実装してください。
- ※基本コードは一番先に読み込まれる必要があるため、<head>タグ内に実装することを奨励しています。**

管理画面設定

Rtoaster基本コード

※下記のコードをウェブサイトのすべてのページの、<head>タグのなるべく上のほうにコピーして貼り付けてください。

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track();
</script>
```

クリックでクリップボードにコピー

含めるコードの種類 (オプション)

☐ ユーザーID書き換え ☐ 閲覧学習コード ☐ 購買学習コード ☐ カスタム変数

管理画面：「その他」>「Rtoasterタグ取得」>基本コード

貴社サイトHTML実装：基本コード

```
<head>
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"
type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track();
</script>
</head>
```

xxx.co.jp のRtoasterトラッキングID

**Rtoasterを使用する
全ページに挿入**

xxx.co.jp

アイテム閲覧情報をURLから学習する場合

① 行動学習設定

② アイテム学習設定

③ アイテム情報登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- アイテムの閲覧を学習するために、アイテムコードの正規表現取得設定を行う必要があります。
- アイテムコードがURLに含まれる場合、正規表現に一致するアイテムコードを閲覧学習します。
- 「学習基本設定」から、アイテムマスタ内のアイテム学習のための正規表現を設定できます。

設定内容

貴社サイト

アイテムページのURL形態

xxx.co.jp/item/**001**.html
 xxx.co.jp/item/**002**.html
 xxx.co.jp/item/**003**.html
 xxx.co.jp/item/**004**.html
 xxx.co.jp/item/**005**.html

管理画面設定

アイテム設定

学習基本設定

正規表現でアイテムコードを取得

項目

登録情報

アイテムコード取得正規表現

/item/(\b\d+).html

アイテムコード連結文字

カテゴリコード取得正規表現(リンク先URL)



管理画面：「共通機能設定」>「自動レコメンド基本設定」>「学習基本設定」

動作イメージ

貴社Webサイト

商品001
詳細ページ

閲覧学習



ユーザーA

アイテムコード：001

ユーザーAが商品001を閲覧したと学習

アイテム閲覧情報をソース上で学習する場合

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- URLからアイテムコードを取得できない場合、**閲覧情報学習コード**でアイテムの閲覧学習を行います。
- 例えば、アイテムコード001がURLから取得できない場合、**Rtoaster.item("001")**を基本コード内に挿入することで、アイテムの閲覧学習を行えます。

設定内容



※アイテムコードをURLから取得できない場合

管理画面設定

項目	登録情報
アイテムコード取得正規表現	/item/.*.html

管理画面：「共通機能設定」>「自動レコメンド基本設定」>「学習基本設定」

貴社サイトHTML実装：基本コード（**閲覧情報学習コード込み**）

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.item("<アイテムコード>");
  Rtoaster.track();
</script>
```

動作イメージ

xxx.co.jp/item.html

貴社Webサイト



アイテムコード：001



ユーザーA

閲覧学習

ユーザーAが商品001を閲覧したと学習

アイテム購買情報を学習する場合

①行動学習設定 → ②アイテム学習設定 → ③アイテム情報登録 → ④レコメンド作成 → ⑤レコメンド実装

- 購買情報を基に自動レコメンドを表示するには、**購買情報学習コード**が必要になります。
- 管理画面よりコンバージョンページを設定し、コンバージョンページの基本コードに購買情報学習コードを追加します。

設定内容

管理画面設定

コンバージョンページ名	条件	オプション
購買完了ページ	ページが「/thanks」を含む	最後にクリックされたコンテンツを効果として測定

管理画面：「共通機能設定」>「コンバージョンページ設定」

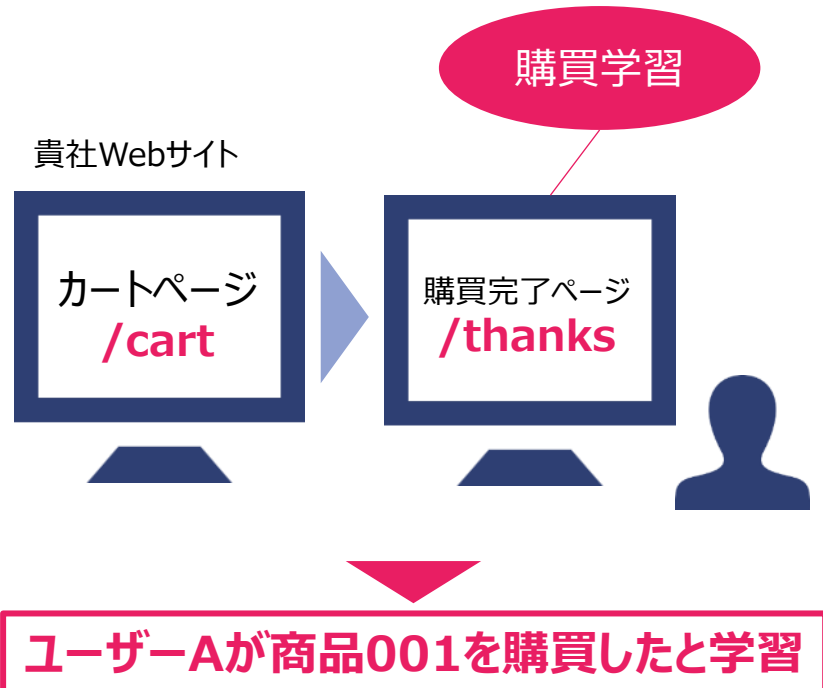
貴社サイトHTML実装：基本コード（購買情報学習コード込み）

```
<script type="text/javascript"src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track({
    "subtotal": "小計",
    "item1_code": "商品001のアイテムコード",
    "item1_price": "アイテムの単価",
    "item1_qty": "アイテムの個数",

    -----省略-----

    "itemn_code": "商品nのアイテムコード",
    "itemn_price": "アイテムの単価",
    "itemn_qty": "アイテムの個数"
  });
</script>
```

動作イメージ



アイテムマスタ設計・作成

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- お客様が使用する商品情報をCSV・TSVファイル（**アイテムマスタ**）にまとめ、Rtoasterに取り込みます。
- アイテムフィールド（タイトル行）の概要は以下になります。

フィルタ条件（カテゴリ上限数：5）

汎用フィールド（上限数：10）

アイテムマスタ例

アイテムコード	アイテム名	価格	価値	グループ	カテゴリ1	カテゴリ2	商品コメント	リンク先URL	サムネイル画像パス
001	ダイニングテーブル	50000	8000	1	リビング	100	...	/item/001.html	/image/001.gif
002	表示項目 椅子	25000	3000	1	リビング	200	...	/item/002.html	/image/002.gif
003	ソファ	250000	48000	1	リビング	300	...	/item/003.html	/image/003.gif
004	リビングテーブル	140000	26000	2	リビング	100	...	/item/004.html	/image/004.gif
005	TVボード	140000	26000	2	リビング	500	...	/item/005.html	/image/005.gif
006	チェスト	120000	22000	3	リビング	400	...	/item/006.html	/image/006.gif
007	化粧台	70000	12000	3	リビング	400	...	/item/007.html	/image/007.gif
008	ベッド	500000	98000	4	ベッドルーム	500	...	/item/008.html	/image/008.gif
009	リクライニングチェア	180000	34000	5	リビング	200	...	/item/009.html	/image/009.gif
010	子供用ベッド	50000	8000	6	子供部屋	500	...	/item/010.html	/image/010.gif

※アイテムマスタの値にHTMLで使用できない文字が含まれている場合、登録前に事前に変換してください。（例）「<」→「<」、「>」→「>」など

※ 自動アップデートアップロードプログラムのご用意もございます。

表示項目：Webテンプレート内の表示項目として使用できます。
フィルタ条件：レコメンド返却時のフィルタ条件として使用できます。
汎用フィールド：任意のフィールド名を設定できます。

アイテム情報のインポート 1/3 : フィールド名の登録

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- アイテムフィールド名（アイテムマスタの項目名）を管理画面に登録します。

管理画面設定

アイテムフィールド名

アイテムコード 必須
アイテムコード

アイテム名 必須
アイテム名

価格

価値

グループ 必須
グループ

カテゴリ1 必須
大カテゴリ

カテゴリ2
中カテゴリ

カテゴリ3

カテゴリ4

カテゴリ5

汎用フィールド1
リンク先URL

汎用フィールド2
画像パス

アイテム設定 学習基本設定

編集 データインポート アイテム確認・停止

アイテムフィールド	フィールド名
フィールド種類	
アイテムコード	アイテムコード
アイテム名	アイテム名
グループ	グループ
カテゴリ1	大カテゴリ
カテゴリ2	中カテゴリ
汎用フィールド1	リンク先URL
汎用フィールド2	画像パス

※登録されたフィールド名とアイテムマスタのフィールド名が一致する必要があります。（一致しない場合インポートエラーになります）

在庫フラグ 在庫フラグ

表示フラグ 表示フラグ

開始日時 開始日時

終了日時 終了日時

管理画面 : 「共通機能設定」>「自動レコメンド基本設定」>「アイテム設定」> 編集

アイテム情報のインポート 2/3 : アイテムマスタのインポート

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- データインポートボタンより、アイテムマスタをインポートします。差分更新か置換更新かを選択することができます。

管理画面設定

※登録されたフィールド名とアイテムマスタのフィールド名が一致しない場合インポートエラーになります

ファイルをここにドロップ

OR

ファイル選択

キャンセル OK

管理画面 : 「共通機能設定」>「自動レコメンド基本設定」>「アイテム設定」> データインポート

アイテム情報のインポート 3/3 : インポート内容をチェック

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

▼データインポート量を確認

データ状況表示より、何時何分に何件のアイテム数が追加／更新／削除されたか確認することができます。

インポート状況			
検索			
ステータス	データ処理種別	処理内訳	処理日時
完了	アイテム情報 更新方法 : 置換更新	処理行数 : 75742 新規 : 219 更新 : 2328 削除 : 57	登録日時 : 2018/06/21 23:46:59 開始日時 : 2018/06/21 23:47:02 更新日時 : 2018/06/21 23:48:03

管理画面 : 「その他」>「データ状況表示」

検索したアイテムの
フィールド情報を確認できます。

▼データの中身を確認

アイテム確認・停止より、アイテムコードを検索することで各アイテムの情報を確認できます。

aster

日本旅行EC

アイテム確認・停止

アイテムコードを入力して検索(完全一致)し、詳細を表示できます。レコメンドにおける表示を緊急停止することもできます

アイテムコード

12345

検索

OK

アイテムフィールド

フィールド種類	フィールド名
アイテムコード	アイテムコード
アイテム名	アイテム名

管理画面 : 「共通機能設定」>「自動レコメンド基本設定」>「アイテム設定」>アイテム確認・停止

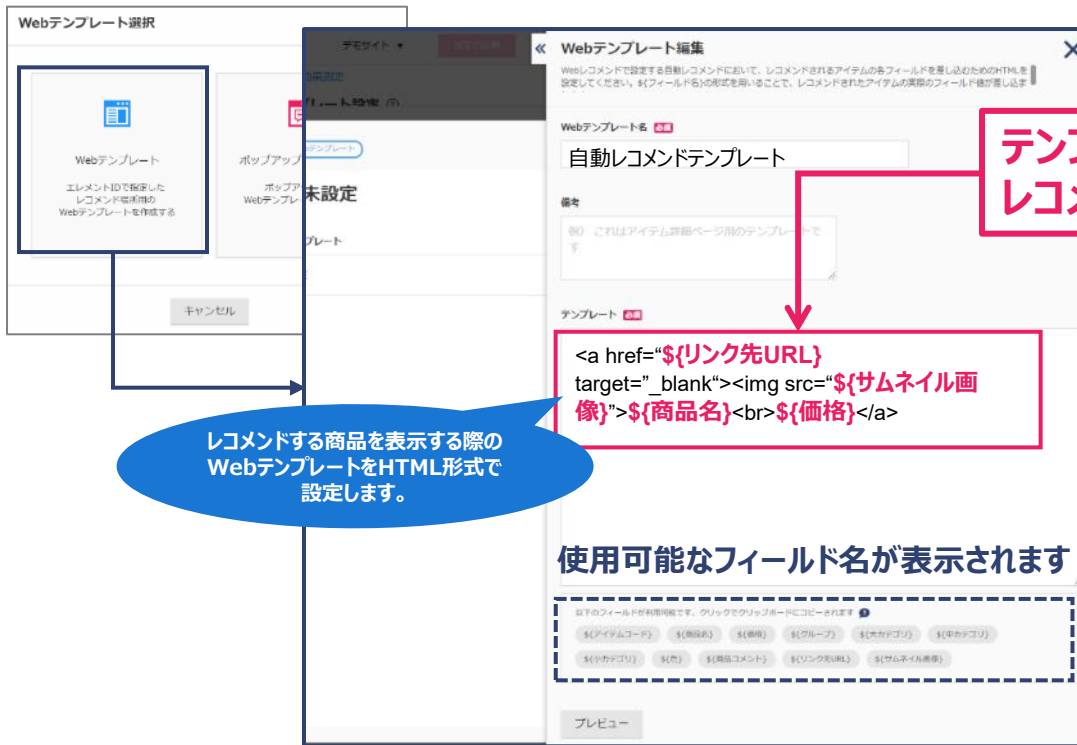
最終更新日	2018/06/15
ステータス	有効
フィールド名	値
アイテムコード	12345
アイテム名	椅子
グループ	新着
大カテゴリ	リビング
中カテゴリ	500

Webテンプレート設定：埋め込みレコメンドの場合

①行動学習設定 → ②アイテム学習設定 → ③アイテム情報登録 → ④レコメンド作成 → ⑤レコメンド実装

- Webテンプレートより、レコメンド表示枠のデザインを登録します。
- インポートしたアイテムマスタのフィールド名を`{<フィールド名>}`の形式で差し込むことができます。

設定内容



管理画面：「Web設定」>「Webテンプレート設定」

動作イメージ

貴社Webサイト



Webテンプレート設定：ポップアップ_テンプレート作成①

① 行動学習設定

② アイテム学習設定

③ アイテム情報登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- WEBテンプレート作成から、ポップアップを選択し、任意のポップアップテンプレートを選択します。
- ポップアップテンプレート編集からレイアウトや表示方法を設定します。

管理画面：「Web設定」>「Webテンプレート設定」

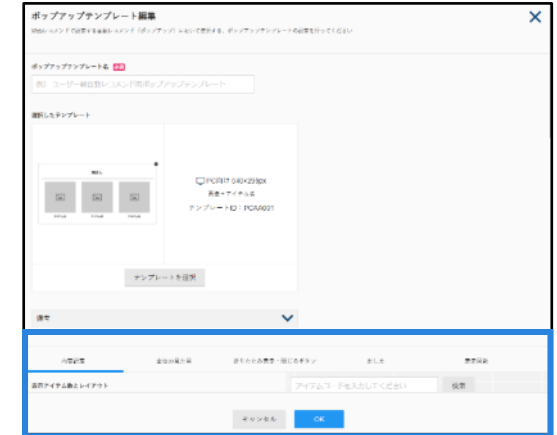
① Webテンプレート選択



② ポップアップテンプレート選択



③ テンプレート編集



④ テンプレート編集_詳細



表示イメージ

Webテンプレート設定：ポップアップ_テンプレート作成②

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- 表示アイテム数や閉じるボタンの変更などデザインを設定します。
- ポップアップのリンク先などをアイテムマスタのフィールド名（**`\${<フィールド名>}`**）の形式で差し込むことができます。
（※選択されたテンプレートに応じて必要入力項目は変動いたします。）

管理画面：「Web設定」>「Webテンプレート設定」

内容設定	全体の見た目	折りたたみ表示・閉じるボタン
表示アイテム数とレイアウト ランキングアイコン 共通見出し 例) おすすめ #d3d3d3 T 出逢や書 プルダウンより フィールド名の選択が可能 リンクURL 必須 例) `\${CODE}` ☐ リンク先を別タブで開く アイテム画像URL 必須	全体の見た目 横幅 ☒ 横幅を中のコンテンツに合わせる 高さ ☒ 高さを中のコンテンツに合わせる 背景色 ☐ 背景を透明にする #ffffff 枠線 太さ 1 px スタイル 実線 色 #d9d9d9 内側の余白 ☐ 上下左右を個別に指定する 15 px 角丸の半径 5 px 影 ☒ 影をつける 任意の横幅/高さ を入力/指定可能 横幅 300 px 高さ 200 px 指定した項目(フィールド名やリンク)通りに レコメンドが表示されます。 椅子 詳細を見る ボタンを任意の 画像に変更可能	折りたたみ表示・閉じるボタン 折りたたみ表示 ☒ 折りたたみ表示を有効にする 初期表示 折りたたんで表示 開いて表示 折りたたみ表示時のデザイン 折りたたみ表示時のテキスト 必須 例) クーポンはこちら #e5e5e5 T #666 折りたたみ表示時の影 ☐ 影をつける 開いたときの右上のボタン 閉じる(最小化)ボタン ☒ ボタンの画像を変更する 閉じるボタンの画像URL 必須 https://brainpad.co.jp/path/to/img.png 最小化ボタンの画像URL 必須 https://brainpad.co.jp/path/to/img.png 折りたたみ表示の有無 を選択可能 ※「折りたたみ機能」の詳細 は巻末に掲載

Webテンプレート設定：ポップアップ_テンプレート作成③

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

・レコメンドの出し方、表示方法を設定します。

(※選択されたテンプレートに応じて必要入力項目は変動いたします。)

管理画面：「Web設定」>「Webテンプレート設定」

内容設定

全体の見た目

折りたたみ表示・閉じるボタン

出し方

表示回数

出し方

表示位置

左上	上	右上
左	中央	右
左下	下	右下

※表示位置を中央に指定した場合、折りたたみ表示時は左下に表示されます。

アニメーション

フェードイン ☒ スライド ☐

表示トリガー

☒ 表示までの時間 ☐ スクロール ☐ セレクタ

ページが表示されてから 秒後に表示

非表示トリガー

☒ 非表示までの時間 ☐ スクロール ☐ セレクタ

ページが表示されてから 秒後に非表示

背景オプション

☐ 背景をグレースケールにし、背景をクリックでポップアップを閉じる

※折りたたみ表示が可能な場合、背景オプションは設定できません。

表示場所・タイミングを
設定可能

表示回数

ユーザーセッション毎の表示回数

セッションごとの表示回数を
設定可能

【トリガーについて】

- ・表示までの時間：ページ表示から「●●秒後」、を指定
- ・スクロール：ページトップから「●●%」、を指定
- ・セレクタ：
 - └ classで指定→class名の前に半角ドット「.」を付与
 - └ idで指定→id名の前に半角「#」を付与

Webテンプレート書式

- Webテンプレートにフィールド名を挿入する際には、通常のフィールド名を記載する以外にもアイテムマスタのフィールド値の置換や、値の加工を行うことができます。

■ Webテンプレートサンプル（標準）

```
<a href= ./item/${URL}?tool=rt class="button expanded">
<img class="thumbnail" src=${URL_IMAGE}?tool=rt width='300' height='400' /></a>
<h5>商品名 : ${NAME}</h5>
<h7>価格 : ${PRICE}</h7>
<a href= ./item/${URL}?tool=rt class="button expanded">Watch</a>
```

■ アイテムマスタフィールドサンプル

CODE	NAME	PRICE	CATEGORY	URL_IMAGE	URL
tem_veget_1	キュウリ	20	veget	images/item_veget_1.jpg	item_veget_1.html
tem_veget_2	にんじん	15	veget	images/item_veget_2.jpg	item_veget_2.html
tem_veget_3	アスパラ	30	veget	images/item_veget_3.jpg	item_veget_3.html
tem_veget_4	なす	30	veget	images/item_veget_4.jpg	item_veget_4.html

■ サイト表示サンプル



サポートセンターページにテンプレート書式の例を掲載しております。

ご利用の用途に合うテンプレートをご参照の上、ご活用下さい。

■ 該当内容 Webマニュアル : <https://support.rtoaster.jp/hc/ja/articles/9415712409487>

レコメンド場所の作成 1/3 : 自動レコメンド種類選択

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- レコメンドタイプを任意で選択し、レコメンド方法は自動レコメンドを選択します。
- 自動レコメンド種類選択画面が表示されるので、レコメンドの目的に応じてアルゴリズムを選択します。

レコメンド場所タイプを任意で選択します。

レコメンドタイプ・レコメンド方法選択

レコメンドタイプ選択

通常
 Webページ内に埋め込みコンテンツを出し分けます

ポップアップ
 Webページにポップアップを表示します

キャンセル OK

レコメンド方法は自動レコメンドを選択します。

レコメンド方法選択

通常
 Webページ内に埋め込みコンテンツを出し分けます

ポップアップ
 Webページにポップアップを表示します

レコメンド方法選択

ルールベースレコメンド
 セグメント毎にコンテンツの最適化やABテスト、LPOを実施します

自動レコメンド
 目的にあわせた最適なコンテンツを、自動で表示します

キャンセル OK

自動レコメンド種類を選択します。

自動レコメンド種類選択

自動レコメンドの種類を選択してください。ページのタイプを指定するとおすすめのレコメンド種類が表示されます。

レコメンドを使用するページのタイプ

▼

ユーザー自動レコメンド(閲覧)	ユーザーの閲覧履歴を指定した学習期間に基づきレコメンドを表示します 「あなたの閲覧履歴からおすすめの商品」
ユーザー自動レコメンド(購買)	ユーザーの購買履歴を指定した学習期間に基づきレコメンドを表示します 「あなたの購買履歴からおすすめの商品」
アイテム自動レコメンド(閲覧)	同時に閲覧されているアイテムを表示します 「この商品を見た人はこんな商品も見ています」
アイテム自動レコメンド(購買)	同時に購買されているアイテムを表示します 「この商品を買った人はこんな商品も買っています」
閲覧履歴	ユーザーの過去の閲覧履歴を表示します 「閲覧履歴はこちら」
閲覧履歴に基づくリアルタイムレコメンド(閲覧)	ユーザーの過去の閲覧履歴と同時に閲覧されやすいアイテムを表示します 「閲覧履歴と同時に見られている商品はこちら」
閲覧履歴に基づくリアルタイムレコメンド(購買)	ユーザーの過去の閲覧履歴と同時購買されやすいアイテムを表示します 「閲覧履歴と同時に見られている商品はこちら」
残高カート内履歴	カート投入し、購買に至っていないアイテムを表示します 「カートに入っている商品はこちら」
残高カート内履歴に基づく自動レコメンド(閲覧)	カート投入し、購買に至っていないアイテムと同時に閲覧されやすいアイテムを表示します 「カートの商品と同時に見られている商品はこちら」
残高カート内履歴に基づく自動レコメンド(購買)	カート投入し、購買に至っていないアイテムと同時に購買されやすいアイテムを表示します 「カートの商品と同時に見られている商品はこちら」
閲覧ランキング	閲覧ユーザー数のランキングを表示します 「このカテゴリの閲覧ランキング」
購買ランキング	購買回数数のランキングを表示します 「このカテゴリの購買ランキング」
閲覧後の購買ランキング	閲覧後、最終的に購買されやすいアイテムのランキングを表示します 「この商品を見た人は最終的にこの商品を買っています」

キャンセル

管理画面：「Web設定」>「Webレコメンド設定」

豊富なアルゴリズムから選択することができ、
設定後アルゴリズムを変更することも可能です。

レコメンド場所の作成 2/3 : レコメンド場所名、エレメントIDの登録

①行動学習設定 → ②アイテム学習設定 → ③アイテム情報登録 → ④レコメンド作成 → ⑤レコメンド実装

- レコメンド場所名とエレメントIDを登録し、埋め込みレコメンドの場合は表示枠数を記入します。

※埋め込みレコメンドの場合

設定内容

管理画面設定

Webレコメンド場所編集

Webレコメンド場所を設定してください。これは御社Webサイトにおいてレコメンドやバナーを表示するためのエリア (HTMLタグ) のことを指します。タグのid属性と「エレメントID」を一致させることで紐付けます

Webレコメンド場所名 **必須**

商品ページ_おすすめ商品

エレメントID **必須**

rt_rec_item

レコメンド方法

アイテム輪自動レコメンド(閲覧)

Webテンプレート **必須**

Webテンプレート

テンプレートグループ

指数枠設定

表示枠数 **必須**

5

レコメンド枠補充

無効

有効

レコメンドが存在する場合に有効

レコメンド表示

アイテムが表示枠数に満たない場合はレコメンドを表示しない

レコメンド場所を指定するID属性値を任意で登録します。
エレメントIDが実装された場所に
レコメンドが表示されます。



貴社サイトHTML (レコメンド枠部分)

```
<div id="rt_rec_item">

<div id="rt_rec_item_1">
レコメンド枠1
</div>

<div id="rt_rec_item_2">
レコメンド枠2
</div>

<div id="rt_rec_item_3">
レコメンド枠3
</div>

<div id="rt_rec_item_4">
レコメンド枠4
</div>

<div id="rt_rec_item_5">
レコメンド枠5
</div>

</div>
```

管理画面 : 「Web設定」> 「Webレコメンド設定」

レコメンド場所の作成 3/3 : フィルタリング設定

①行動学習設定

②アイテム学習設定

③アイテム情報登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- ・ カテゴリフィルタ／グループフィルタの設定を同じ画面で行います。
- ・ レコメンドコードにカテゴリ取得コードを実装することで、フィルタリングが有効になります。

設定内容

※埋め込みレコメンドの場合
管理画面設定

フィルタ編集

このレコメンド適用でかけたいフィルタを設定してください

カテゴリフィルタ

☐ カテゴリフィルタを使用しない
☒ 条件にマッチしたアイテムのみ
☐ 条件にマッチしたアイテムを優先

使用可能なフィルタリング方法を選択します。

フィルタに用いるカテゴリ値の指定方法

☒ タグ・URLなどから動的に取得される値を使用する
☐ 管理画面上で設定する固定値を使用する
☐ 直近の閲覧アイテムのカテゴリ値を使用する

カテゴリ毎の条件

☒ 取得した値と一致する
☐ 取得した値と一致しない
☐ 取得した値を含む
☐ 取得した値を含まない

カテゴリ値の条件を選択します。

フィルタ対象カテゴリ

☐ CATEGORY1
☐ CATEGORY2

フィルタリングしたいカテゴリにチェックを入れます。

グループフィルタ (GROUPING)

☐ (例) 年齢

グループでフィルタリングしたい場合に値を入力します。

管理画面：「Web設定」>「Webレコメンド設定」

注意事項

※使用するアルゴリズムによって、カテゴリフィルタがかけられない場合がございます。

動作イメージ

貴社Webサイト



カテゴリ情報
取得

レコメンドコード

```
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.category("大カテゴリの値", "中カテゴリの値");
  Rtoaster.recommendNow("rt_rec_item");
</script>
```

カテゴリ取得コード

レコメンドコードの実装

①行動学習設定 → ②アイテム学習設定 → ③アイテム情報登録 → ④レコメンド作成 → ⑤レコメンド実装

- レコメンドを表示するため、レコメンドコードとレコメンド場所指定コードを実装する必要があります。
- レコメンドコードが読み込まれた後、レコメンド場所指定コードが読み込まれます。

管理画面設定



管理画面：「その他」>「Rtoasterタグ取得」>レコメンドコード

※ポップアップの場合、場所指定コードは必要なく、**ポップアップコード**の実装が必要になります。

▼ポップアップコード例

```
<script type="text/javascript"
src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.Popup.js"></script>
<script type="text/javascript">
Rtoaster.Popup.register("popup");
Rtoaster.recommendNow("popup");
</script>
```

貴社サイトHTML

<body> ※ポップアップの場合は必要ありません

```
<div id="rt_rec_item">
  <div id="rt_rec_item_1"> レコメンド枠1 </div>
  <div id="rt_rec_item_2"> レコメンド枠2 </div>
  <div id="rt_rec_item_3"> レコメンド枠3 </div>
</div>
```

-----省略-----

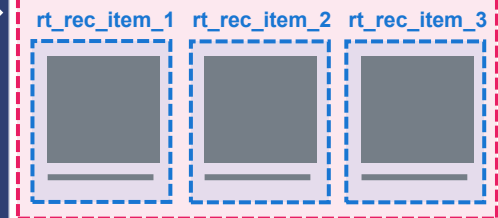
```
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.recommendNow("rt_rec_item");
</script>
```

</body>

②レコメンド場所指定

①レコメンド呼び出し

貴社Webサイト



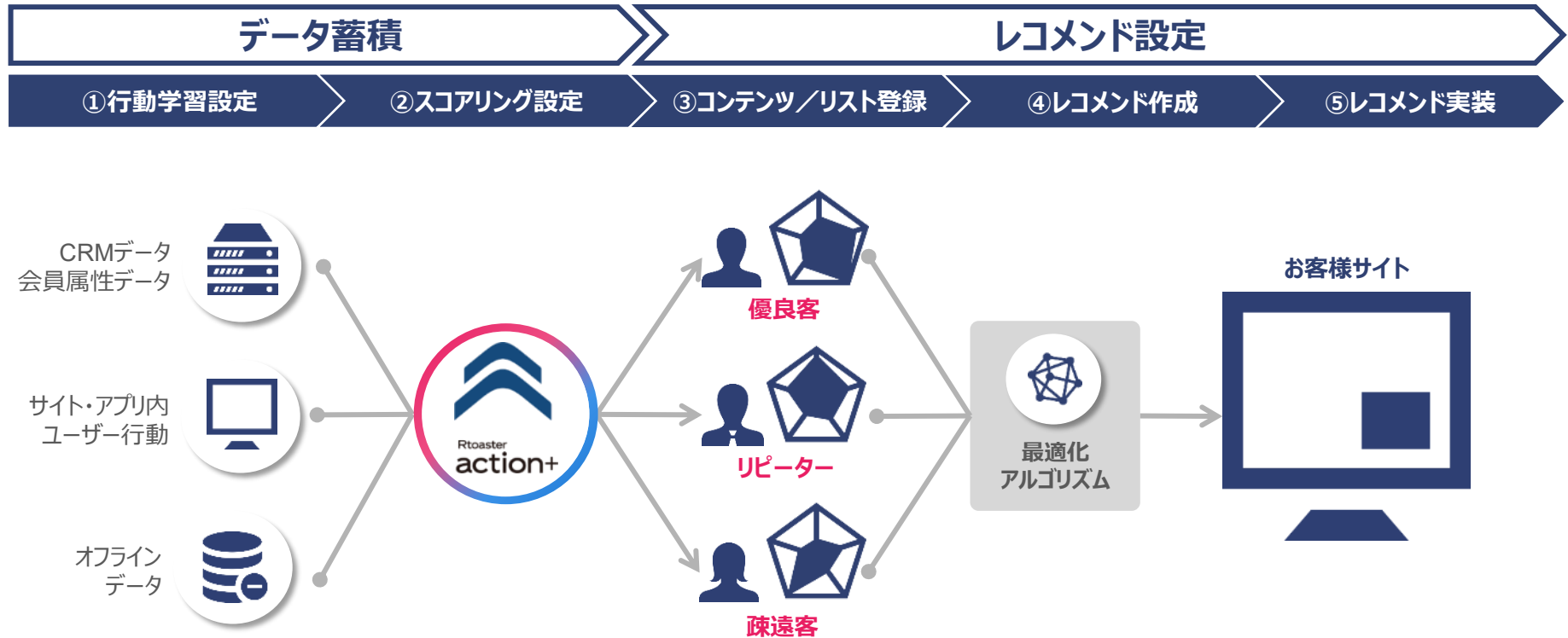
Rtoaster導入までの作業 ルールベースレコメンド設定手順



Rtoaster
action+

ルールベースレコメンド 設定の流れ 概要

- ルールベースレコメンドの設定手順は以下になります。この資料は以下の手順に沿って説明いたします。



ユーザー行動学習設定

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- 基本コードはユーザー行動のトラッキング、レコメンドの呼び出し／表示のために必要なコードです。
 - Rtoaster管理画面から基本コードを取得し、Rtoasterを使用する全ページに実装してください。
- ※基本コードは一番先に読み込まれる必要があるため、<head>タグ内に実装することを奨励しています。**

管理画面設定

Rtoaster基本コード

※下記のコードをウェブサイトのすべてのページの、<head>タグのなるべく上のほうにコピーして貼り付けてください。

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track();
</script>
```

クリックでクリップボードにコピー

含めるコードの種類 (オプション)

☐ ユーザーID書き換え ☐ 閲覧学習コード ☐ 購買学習コード ☐ カスタム変数

管理画面：「その他」>「Rtoasterタグ取得」>基本コード

貴社サイトHTML実装：基本コード

```
<head>
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"
type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track();
</script>
</head>
```

xxx.co.jp のRtoasterトラッキングID

**Rtoasterを使用する
全ページに挿入**

xxx.co.jp

スコアリング設定 1/3 : スコア項目・グループ設定

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- スコアリングとは、ユーザーに対しスコアを付与することで、そのスコアをレコメンドルール設定の条件として使用したり、サイトの閲覧動向などを数値化することができる機能です。
- 最初に**スコアポイント**を蓄積する箱である**スコアグループ**を作成し、その中にスコア項目を登録します。登録したスコア項目にスコアポイントが蓄積されていきます。

① スコアグループの作成

スコアグループ編集

一人一人、個別にスコアリングしたいユーザーの行動をスコア項目として設定してください。スコア項目は必ずスコアグループに属する必要があるため、まずグループを作成してください

スコアグループ名 **必須**

流入元サイト

スコア保持期間 (日)

例) 7

グループ内のスコアの保持期限を指定することができます。

オプション

☒ セッション毎に1度だけスコア項目を更新

1セッション1度のみスコア項目を更新と指定できます。

キャンセル OK 保存してスコア項目の設定へ

② スコア項目の登録

スコア項目編集

スコア項目を設定してください

スコア項目名 **必須**

ブレインパッド公式サイト

キャンセル OK

スコア項目一覧

スコア項目を新規に追加するか、既存のスコア項目を編集してください。スコア項目はスコアルールを設定することで蓄積されます

登録件数: 2 / 100

スコア項目名	ステータス	最終更新日	
ブレインパッド公式サイト	使用中	2017/6/21	...
Rtoaster公式サイト	作成中		...

スコア項目を作成

追加したスコア項目にスコアポイントが加算されていきます。

スコアリング設定 2/3 : スコアルールの条件設定

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- ・ 何の条件に一致した場合にスコアを加算／設定するのかが設定します。
- ・ 訪問したURLや流入元ページ、訪問日時やユーザーのデバイスなど、幅広い条件から選択できます。
- ・ 条件は複数個設定が可能です。**※同じ条件を複数個設定することはできません。**

例) 流入元サイトを条件とする場合

管理画面設定

管理画面 : 「共通機能設定」> 「スコアルール設定」

スコアルール編集

「スコア項目・グループ設定」機能で設定したスコア項目について、ユーザーがどのような行動をした時にどのようなスコアを算出するかを設定してください。算出されたスコアをレコメンドルールに利用することで、施策の実施が可能です。

スコアルール名 **流入元サイト_ブレインパッド公式サイト**

条件 **設定**

対象ユーザーの条件を設定

アクション **設定**

条件に紐づく

トラッキング **設定**

- ☒ ページトラッキングのみ
- ☐ イベントトラッキングのみ
- ☐ ページトラッキングとイベントトラッキングの両方

キャンセル OK

【スコア取得のトラッキングタイミング】
取得したいスコア条件のサイト挙動に応じ、
適切な選択肢を選びます。
※イベントトラッキング＝ページ遷移無しの
「イベントトラッキングコード」起動時に有効

条件項目から自由にスコアリング条件設定ができます。

条件選択

下記の中から追加したい条件を選択してください

対象URL

リクエストパラメータ

リファラ

曜日・時間帯

ユーザー環境

地域

アンケート変数

カスタム変数

リファラ条件編集

リファラを条件として設定してください

リファラサイトドメイン

☒ 直接入力
☐ テーブル

例) brainpad.co.jp に一致する

リファラページ

登録件数: 1 / 10

例) /top.html

入力枠追加

上記のいずれかに一致する

ターゲットにページトラッキングが含まれる場合は利用できません

左記のトラッキングタイミングの指定内容に応じ、
選択できる条件が変わります。
(※リクエストパラメータ、アンケート変数の選択可否)

スコアリング設定 3/3 : スコアールのアクション設定

①行動学習設定

②スコアリング設定

③コンテンツ／リスト登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- 条件に一致した際に、どのスコア項目に何ポイント加算／設定するか（**アクション**）を設定します。
- スコアグループ、スコア項目を選択し、加算／設定したいポイント数を指定することで、それに沿ってスコアリングが行われます。

管理画面設定

条件 **必須**

曜日・時間帯 流入元ドメインが「brainpad.co.jp」に一致する ...

AND

アクション **必須**

条件に紐付けるスコア項目を設定する

スコアリングのアクションを設定します。

管理画面：「共通機能設定」>「スコアールール設定」

アクション対象

スコアグループ
流入元サイト

スコア項目
ブレインパッド公式サイト

スコアポイント
1 ポイント加算

依存スコアを設定する

キャンセル OK

ブレインパッド公式サイトから流入した際に、スコア項目「ブレインパッド公式サイト」が1ポイント加算される、というスコアールール設定が完了です。

【参考】カスタム変数によるスコアリング

- カスタム変数機能とは、RtoasterのJavaScriptタグにJSONのパラメータを指定することで、カスタム変数としてそれらパラメータの値をスコアリングに利用できる機能です。
- カスタム変数はスコアルール設定詳細にて条件として指定可能です。
- カスタム変数機能の利用におけるRtoaster基本コードの書き換え方法は以下の通りです。

お客様側で発行しているCookieをカスタム変数として利用する場合

▼設定方法1

```
<script src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js" type="text/javascript"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXX", "会員ID");
  Rtoaster.track({
    "カスタム変数名1": Rtoaster.Cookie.get("Cookie名1"),
    "カスタム変数名2": Rtoaster.Cookie.get("Cookie名2")
  });
</script>
```

▼設定方法2

```
var customKey = {
  "カスタム変数名1": Rtoaster.Cookie.get("Cookie名1"),
  "カスタム変数名2": Rtoaster.Cookie.get("Cookie名2")
};
</script>

-----省略-----

<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track(customKey);
</script>
```

お客様のWebシステム側で発行している値をカスタム変数として利用する場合

▼設定方法1

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track({
    "カスタム変数名1": "<動的に書き出して頂く値>",
    "カスタム変数名2": "<動的に書き出して頂く値>"
  });
</script>
```

▼設定方法2

```
<script type="text/javascript">
var customKey = {
  "カスタム変数名1": "<動的に書き出して頂く値>",
  "カスタム変数名2": "<動的に書き出して頂く値>"
};
</script>

<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.init("RTA-XXXX-XXXXXXXXXXXX");
  Rtoaster.track(customKey);
</script>
```

コンテンツ登録 1/2 : コンテンツグループの作成

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- ・ コンテンツを登録する箱であるコンテンツグループを作成します。
- ・ コンテンツグループに最大100個までコンテンツを登録することができ、その中から最適化やABテストを行うことができます。
- ・ 1つのレコメンド場所に1つのコンテンツグループを登録します。

管理画面設定

Webコンテンツグループ編集(ポップアップ)

ここではルールベースのWebレコメンド(ポップアップ)において表示されるコンテンツを設定します

Webコンテンツグループ名 **必須**

会員登録請求ポップアップ

表示回数を設定する

コンテンツ **必須**

登録件数: 0 / 100

コンテンツ名	コンテンツ...	詳細	ステータス	最終更新
+コンテンツを追加				

オプション

☐ コンテンツのクリックを追跡しない

備考など

キャンセル OK

表示回数設定

表示回数編集

このコンテンツグループをユーザー毎に最大何回表示するかを設定してください。システムの制約上、設定された値を若干超えて表示されることがあります。

表示回数 (ユーザー毎)

セッション

約 1

累積

約 2

コンテンツグループ全体で、セッション内及び合計でコンテンツの表示回数上限を設定します。
※コンテンツごとの設定も可能

コンテンツの追加

コンテンツ1

コンテンツ2

コンテンツ3

最大100個まで登録可能

コンテンツの表示方法を下記から選択します。

- ・ 自動最適化
- ・ ランダム表示
- ・ 比率設定 (ABテスト)

管理画面 : 「Web設定」> 「Webコンテンツグループ設定」

コンテンツ登録 2/2 : コンテンツの追加 (HTMLを使用)

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

- コンテンツグループにコンテンツを追加します。ポップアップの場合、HTMLとテンプレートを選択することができます。

管理画面：「Web設定」>「Webコンテンツグループ設定」

通常の場合

![Screenshot of the 'コンテンツ編集' (Content Edit) screen for the '通常の場合' (Normal case). The screen shows a form to add content. The 'コンテンツ名' (Content Name) field is filled with '会員登録バナー_訴求画像'. The 'コンテンツ' (Content) field is filled with HTML code: <a href='\](\"/recommend/img_01.png\"\" alt=)

コンテンツ編集

表示するコンテンツのHTMLを登録してください

コンテンツ名 必須

会員登録バナー_訴求画像

コンテンツ 必須 **コンテンツHTML**

```
<a href="http://www.xxx.co.jp/123/"><div class="recommend_img"></div><p class="recommendLinks__txt">期間限定セール実施中！</p></a>
```

表示回数・期間を制御する

キャンセル OK

ポップアップ (HTMLコード) の場合

![Screenshot of the 'コンテンツ編集' (Content Edit) screen for the 'ポップアップ (HTMLコード) の場合' (Pop-up (HTML code) case). The screen shows a form to add content. The 'コンテンツ名' (Content Name) field is filled with '会員登録バナー_訴求画像'. The 'コンテンツの入力形式' (Content input format) is set to 'HTML'. The 'コンテンツ' (Content) field is filled with HTML code: <a href='\](\"/recommend/img_01.png\"\" alt=)

コンテンツ名 必須

会員登録バナー_訴求画像

コンテンツの入力形式

☐ テンプレート

☒ HTML

全体の見た目

コンテンツ 必須 **コンテンツHTML**

```
<a href="http://www.xxx.co.jp/123/"><div class="recommend_img"></div><p class="recommendLinks__txt">期間限定セール実施中！</p></a>
```

出し方を変更

表示回数・期間を設定

プレビュー

次ページの③参照

枠線や角の丸みなどの見た目の編集、また表示方法や表示トリガーなどの出し方の編集が可能です。(P64参照)

コンテンツ登録 2/2 : コンテンツの追加 (テンプレートを使用)

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

管理画面 : 「Web設定」> 「Webコンテンツグループ設定」

ポップアップ (テンプレート) の場合

コンテンツ編集

表示するコンテンツを登録してください。HTMLを直接入力していただくか、画像とURLを指定することで登録することができます

コンテンツ名 必須

例) コンテンツ1

コンテンツの入力形式

☒ テンプレート

☐ HTML

選択したテンプレート

画像のみ

テンプレートを選択 **1**

全体の見た目 **3**

内容設定 **2**

画像

URL 必須

https://brainpad.co.jp/path

ポップアップコンテンツテンプレート選択

1

HTML

画像のみ

2

内容設定

画像

URL 必須

/recommend/img_01.png **画像URL**

サイズ (幅 × 高さ) (px) 必須

300 × 200 **画像サイズ**

☐ 縦横比を固定する

代替テキスト

期間限定セール実施中! **代替テキスト**

リンク 必須

http://www.xxx.co.jp/123/ **リンク先URL**

☐ リンク先を別窓

出し方を変更

表示回数・開閉を設定

プレビュー

3

全体の見た目

横幅 ☒ 横幅を中のコンテンツに合わせる

高さ ☒ 高さを中のコンテンツに合わせる

背景

背景を透明にする

#ffffff **背景色の指定**

枠線 **枠線の太さ、スタイル、色の指定**

太さ 1 px

スタイル 実線

色 #d9d9d9

内側の余白

上下左右を個別に指定する

15 px **余白の指定**

角丸の半径

5 px **角丸の半径の指定**

☒ 影をつける **ポップアップ画像に影を付けるか選択**

折りたたみ表示

☐ 折りたたみ表示を有効にする

閉じる/最小化ボタン

☐ ボタンの画像を変更する

折りたたみ表示、閉じるボタンの設定 (※テンプレートでのみ可)

選択したテンプレートに応じて、内容設定の項目は変更されます。

出し方・表示回数はP64を参照

コンテンツ登録 2/2 : コンテンツの追加 (テンプレートを使用したアンケート)

① 行動学習設定

② スコアリング設定

③ コンテンツ／リスト登録

④ レコメンド作成

⑤ レコメンド実装

管理画面 : 「Web設定」> 「Webコンテンツグループ設定」

アンケートポップアップの場合

コンテンツ編集
表示するコンテンツを登録してください。HTMLを直接入力していただくか、テンプレートで必要項目を入力することで登録することができます

コンテンツ名 必須

例) コンテンツ1

選択したテンプレート

質問文が入ります。質問文が入ります。質問文が入ります。質問文が入ります。質問文が入ります。

回答 回答
回答 回答
回答 回答
回答 回答

アンケート
テンプレートID : 21A001AA

変更する

アンケート変数名 必須

cyaykxqf

内容設定

質問/サックスページを追加

質問文

サイトの満足度をおしえてください

選択肢を記入

選択肢1 テキスト

満足 テキスト

アンケート変数値

q0e5dixf

選択肢2 テキスト

選択肢2のテキスト

アンケート変数値

mtherp7kz

選択肢を追加 (最大8つまで)

回答送信ボタンの記入

回答を送信

アンケート変数名と変数値はアンケート結果をスコアリングする場合に使用します。スコアリングをすることで、アンケート回答結果に基づいた施策を実施することができます。スコア設定方法についてはp72-p74を参照ください。

ルール用リスト作成

①行動学習設定

②スコアリング設定

③コンテンツ／リスト登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- 条件に一致したユーザーに、アイテムリストから商品をランダム表示や自動最適化表示することができます。
- 1つのリストに**最大100アイテム**登録することができます。

※自動レコメンドと同じ工程で、アイテムマスタ登録、Webテンプレート作成をする必要があります。（P57~64参照）

管理画面：「Web設定」>「Webレコメンド設定」

設定内容

リスト名編集

リスト名 **必須**

CVRが低い商品リスト

備考

例) 初訪のユーザーをターゲットとしてトップ画面に商品を表示するためのリストです

アイテムを編集する

アイテム編集

アイテムのリストを編集するためには「アイテムを選択する」をクリックしてください。実際に表示される際の優先順位は「アイテムの選択方法」で設定してください

登録アイテム

登録件数: 0 / 100

アイテムコード	アイテム名	ステータス	ポイント
アイテムを選択する			

アイテム選択方法

- ランダム
- ポイント昇順
- ポイント降順
- 自動最適化 (CTR)
- 自動最適化 (CVR)

プルダウンで選択します。

アイテムコード

001

最終更新日

検索

リストに追加したいアイテムコードを検索し、表示されたアイテムにチェックを入れ「追加」を押します。

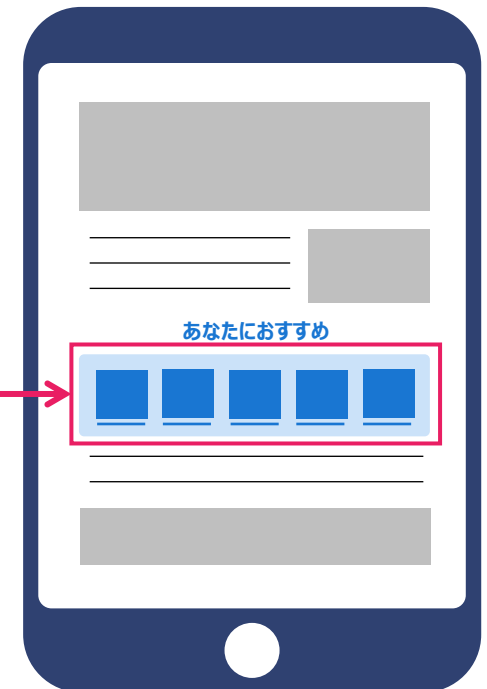
追加 >>

アイテムコード	アイテム名	最終更新日
☐ 001	椅子	2018/04/10

キャンセル OK

動作イメージ

リストから商品をランダム表示



レコメンド場所の作成 1/3 : レコメンド場所名、エレメントIDの登録

①行動学習設定

②スコアリング設定

③コンテンツ／リスト登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- レコメンド場所名とエレメントIDを登録し、埋め込みレコメンドの場合は表示枠数を記入します。

設定内容

管理画面設定

Webレコメンド場所編集

Webレコメンド場所を設定してください。これは御社Webサイト上においてレコメンドやバナーを表示するためのエリア(HTMLタグ)のことを指します。タグのid属性と「エレメントID」を一致させることで

Webレコメンド場所名 **必須**

トップページ_会員登録訴求ポップアップ

エレメントID **必須**

rt_top_popup

レコメンド方法

ルールベースレコメンド

レコメンド場所を指定するID属性値を任意で登録します。
エレメントIDが実装された場所にレコメンドが表示されます。

※通常レコメンドの場合表示枠数を指定します。

キャンセル OK 保存してレコメンドルールの設定へ

レコメンドルール設定

- 分析セグメント
- 訪問回数、訪問間隔、滞在時間など
- 属性項目
- スコア
- 対象URL
- リクエストパラメータ
- 流入元ページまたはドメイン
- 曜日・時間帯
- ユーザー環境
- etc...

これらの条件で
ルール設定ができます。

管理画面 : 「Web設定」> 「Webレコメンド設定」

レコメンド場所の作成 2/3 : 対象ユーザーの条件を設定

①行動学習設定

②スコアリング設定

③コンテンツ／リスト登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- レコメンドを表示するルールを設定します。訪問回数やスコア、流入元やデバイスを条件に指定できます。
- 例えば、カテゴリ〇〇のページを閲覧したことがあるユーザー、と指定したい場合、**スコア項目「〇〇ページ閲覧ユーザー」が1ポイント以上、と設定します。**

管理画面設定

管理画面：「Web設定」>「Webレコメンド設定」

Webレコメンドルール編集

レコメンドルールを設定してください。ルールは「条件」と「コンテンツ」によって構成され、条件に合致したユーザーに対して選択したコンテンツが表示されます。

レコメンドルール名 **必須**

〇〇ページ閲覧ユーザー

備考

任意の備考を入力してください

ルールの適用期間を設定する

条件 **必須** **対象ユーザーの条件を設定します。**

対象ユーザーの条件を設定する

コンテンツ **必須**

コンテンツを設定する

条件選択

下記の中から追加したい条件を選択してください

分析セグメント

訪問

属性

スコア

対象URL

リクエストパラメータ

流入

曜日・時間帯

ユーザー環境

地域

外部セグメント

ABテストグループ

ルールセット

例) スコアを条件とする場合

スコアグループ

カテゴリ別閲覧スコア

スコア項目

〇〇ページ閲覧ユーザー

スコア「平日にアクセス」の種別

☒ 累積スコア

☐ セッションスコア

スコア「平日にアクセス」の有無

☒ スコアが存在する

☐ スコアが存在しない

スコア「〇〇ページ閲覧ユーザー」ポイント

☐ 範囲選択

1 以上

スコア「〇〇ページ閲覧ユーザー」のスコアグループ「カテゴリ別閲覧スコア」内での順位

☐ 範囲選択

例) 1 に一致する

スコア「〇〇ページ閲覧ユーザー」のスコアグループ「カテゴリ別閲覧スコア」内での比率

☐ 範囲選択

例) 1 に一致する

スコアグループ内で最新の更新

☐ スコア「〇〇ページ閲覧ユーザー」のスコアグループ「カテゴリ別閲覧スコア」内で最新

ユーザーの累積（合計）スコアか、セッションスコアかを選択可能

スコア項目のポイント数、グループ内での順位や比率を指定、またはスコア項目がグループ内で最新の更新の場合、という設定が可能

条件に一致したユーザーにレコメンドが表示されます。

レコメンド場所の作成 3/3 : コンテンツの設定

①行動学習設定

②スコアリング設定

③コンテンツ／リスト登録

④レコメンド作成

⑤レコメンド実装

- レコメンドを表示するルールを設定します。訪問回数やスコア、流入元やデバイスを条件に指定できます。
- 例えば、カテゴリ〇〇のページを閲覧したことがあるユーザー、と指定したい場合、スコア項目「〇〇ページ閲覧ユーザー」が1ポイント以上、と設定します。

管理画面設定

管理画面 : 「Web設定」> 「Webレコメンド設定」

Webレコメンドルール編集

レコメンドルールを設定してください。ルールは「条件」と「コンテンツ」によって構成され、条件に合致したユーザーに対して選択したコンテンツを表示します。

レコメンドルール名 **必須**

〇〇ページ閲覧ユーザー

備考

任意の備考を入力してください

ルールの適用期間を設定する

条件 **必須**

対象ユーザーの条件を設定する

コンテンツ **必須**

コンテンツを設定します。

コンテンツを設定する

コンテンツ編集

条件に合致した際に表示するコンテンツを設定してください

ポップアップコンテンツグループ

+ 新規作成

クーポンバナー

ログイン訴求バナー

期間限定セールバナー

表示したいコンテンツを選択します。

1レコメンド場所につき50個までレコメンドルールを設定できます

登録件数: 2 / 50

ルール評価順	ルール名	条件	コンテンツ	ステータス
1		総ページビュー数が 1 以上	ポップアップコンテンツグループ クーポンバナー	...
2		グループ「曜日別スコアグループ」内の累積スコア「平日にアクセス」が 1ポイント 以上	ポップアップコンテンツグループ ログイン訴求バナー	...

Webレコメンドルールを作成

レコメンドコードの実装

①行動学習設定 → ②スコアリング設定 → ③コンテンツ／リスト登録 → ④レコメンド作成 → ⑤レコメンド実装

- レコメンドを表示するため、レコメンドコードとレコメンド場所指定コードを実装する必要があります。
- レコメンドコードが読み込まれた後、レコメンド場所指定コードが読み込まれます。

管理画面設定



管理画面：「その他」>「Rtoasterタグ取得」>レコメンドコード

※ポップアップの場合、場所指定コードは必要なく、**ポップアップコードの実装が必要になります。**

▼ポップアップコード例

```
<script type="text/javascript"
src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.Popup.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.Popup.register("popup");
  Rtoaster.recommendNow("popup");
</script>
```

貴社サイトHTML

<body> ※ポップアップの場合は必要ありません

```
<div id="rt_rec_item">
  <div id="rt_rec_item_1"> レコメンド枠1 </div>
  <div id="rt_rec_item_2"> レコメンド枠2 </div>
  <div id="rt_rec_item_3"> レコメンド枠3 </div>
</div>
```

-----省略-----

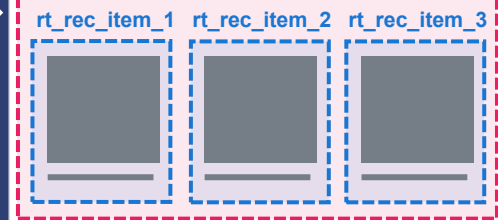
```
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.recommendNow("rt_rec_item");
</script>
```

</body>

②レコメンド場所指定

①レコメンド呼び出し

貴社Webサイト



Webマニュアル



Rtoaster
action+

【ご案内】Webマニュアル

Webマニュアルでは、レコメンドを行うための設定方法・手順等を掲載しております。



マニュアル

アクション

- スコア設定方法
- 自動レコメンドの設定手順
- Webレコメンド設定
- ポップアップの表示について
- 各種コンテンツグループ設定

HTMLコード記載例

- Rtoaster基本コードの挿入
- エlementIDの挿入
- レコメンドコードの挿入
- ポップアップコードの挿入

効果測定

- 効果測定レポートの確認
- 効果測定除外IPアドレス設定

Webマニュアル : <https://support.rtoaster.jp>

効果測定機能



Rtoaster
action+

効果測定画面説明

アカウント概要 (CSVダウンロード)

以下CSVをダウンロードすることが可能

- ・サイト全体のトラッキング
- ・レコメンド全体や各レコメンド場所ごとの効果測定

キャンペーン (ルールベース)

ルールベースレコメンド・キャンペーンの効果測定を確認することが可能

ルール・コンテンツなど様々な軸で確認

自動レコメンド

自動レコメンドの効果測定を確認することが可能
レコメンド場所・レコメンド方法で確認

コンバージョン

コンバージョンポイントごとの効果測定を確認することが可能

アンケート

アンケートごとの効果測定を確認することが可能

- ・設問別
- ・回答別
- ・CSVダウンロード

効果測定

アカウント概要 (CSVダウンロード)

キャンペーン (ルールベース)

自動レコメンド

コンバージョン

アンケート

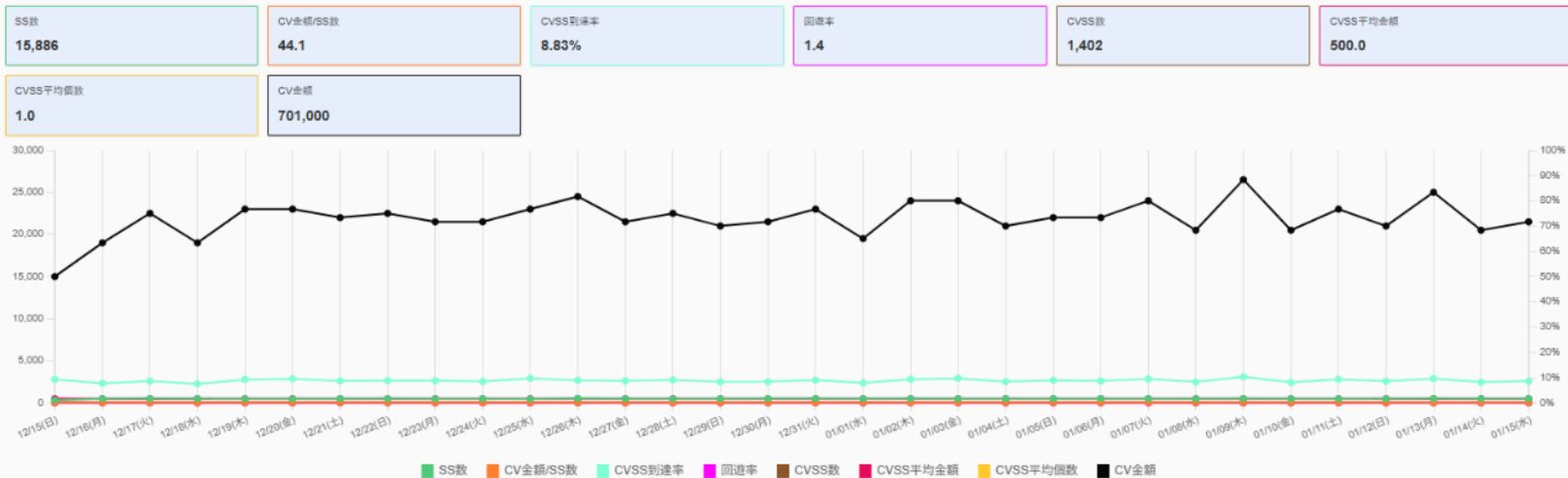
新指標に切り替える

アカウント概要に表示する指標を新・旧切り替えます

☐ 設定されたIPアドレスを除外

2024-12-15 ~ 2025-01-15

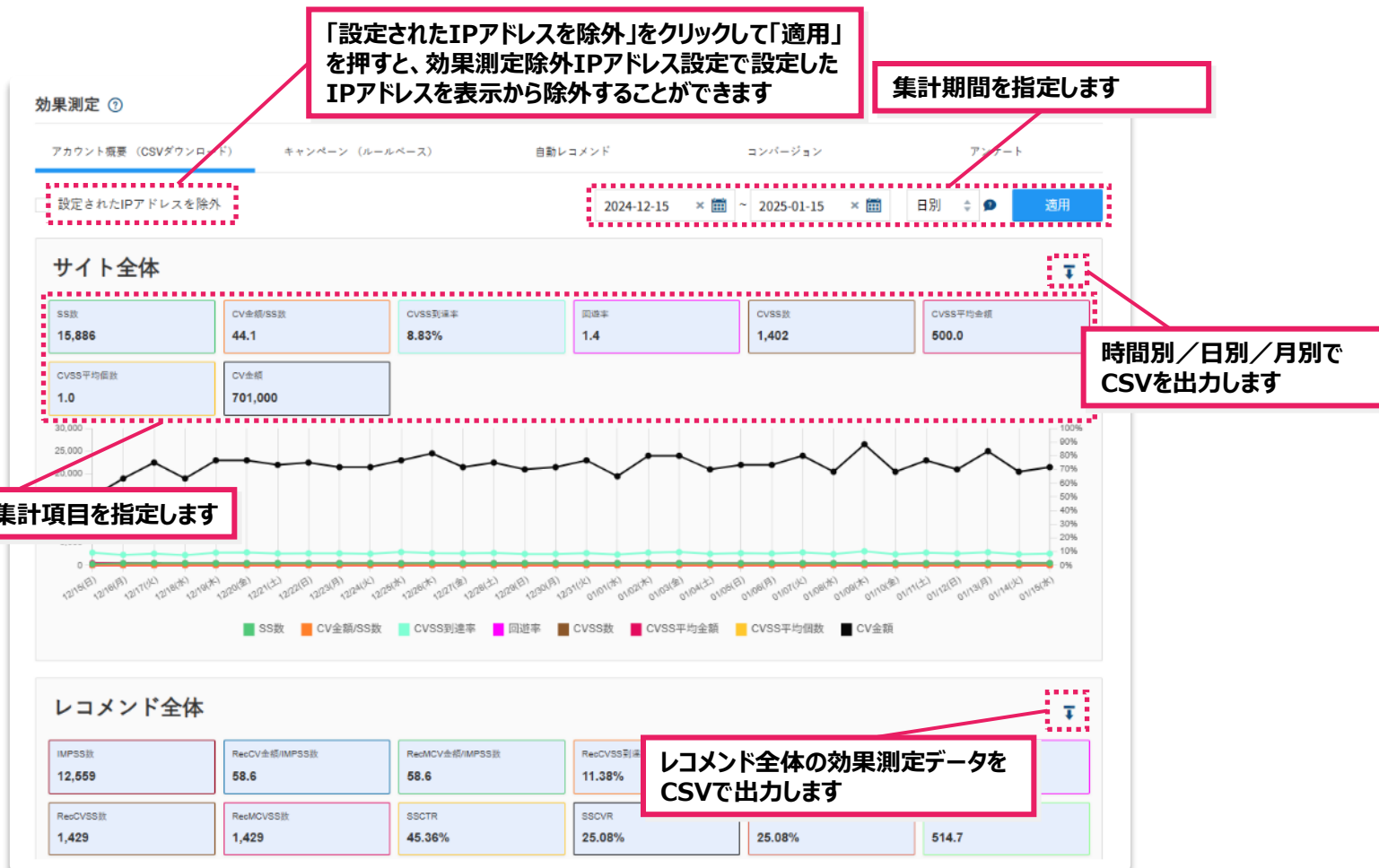
サイト全体



効果測定画面説明 アカウント概要(1/5)

指定された集計期間、集計単位で各項目の概要を確認することができます。
この画面から効果測定結果のエクスポートが可能です。

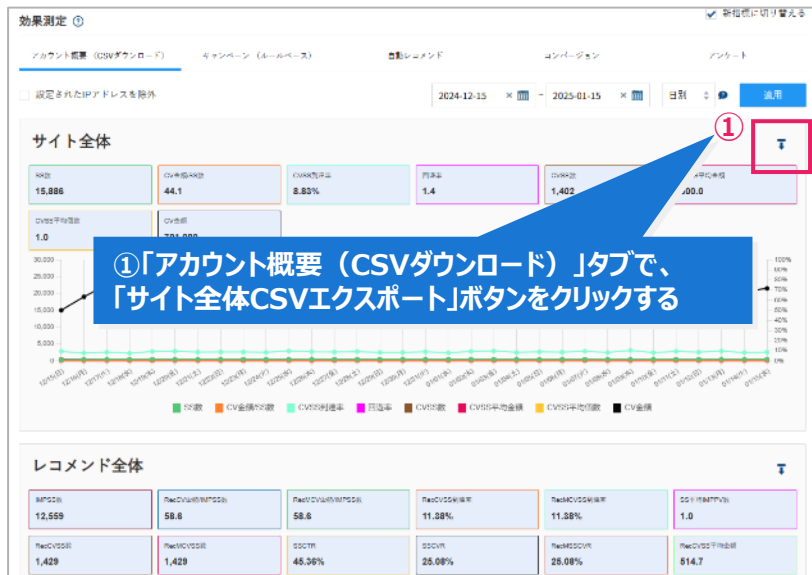
アカウント概要(CSVダウンロード)



効果測定画面説明 アカウント概要(2/5)

下記の手順でサイト全体の効果測定結果をエクスポートすることができます。

サイト全体



集計項目

以下の項目が集計されます。

- SS数
- CV金額/SS数
- CVSS到達率
- 回遊率
- CVSS数
- CVSS平均金額
- CVSS平均個数
- CV金額

サイト全体 CSVエクスポート設定

出力する期間を選択

- ☐ 時間別
- ☒ 日別
- ☐ 月別

出力期間

ユーザーグループによる絞り込み

- ☒ 絞り込まない
- ☐ 恒久
- ☐ セッション

ユーザーグループの絞り込み

キャンセル

OK

② 出力期間を選択し、「OK」ボタンをクリックする

CSV出力ファイル

※ファイル名のXは出力日時が入ります

▼時間別 ファイル名：サイト全体_時間別.XXXXXXXXXX.csv

日付	SS数	CV金額/SS数	CVSS到達率	回遊率	CVSS数	CVSS平均金額	CVSS平均個数	CV金額
2024/12/15 9:00	22	113.6	22.73%	1.8	5	500	1	2500
2024/12/15 10:00	19	0	0.00%	1.2	0	0	0	0
2024/12/15 11:00	27	18.5	3.70%	1.5	1	500	1	500
2024/12/15 12:00	25	0	0.00%	1.4	0	0	0	0
2024/12/15 13:00	25	0	0.00%	1.4	0	0	0	0

▼日別 ファイル名：サイト全体_日別.XXXXXXXXXX.csv

日付	SS数	CV金額/SS数	CVSS到達率	回遊率	CVSS数	CVSS平均金額	CVSS平均個数	CV金額
2024/12/15	323	46.4	9.29%	1.5	30	500	1	15000
2024/12/16	491	38.7	7.74%	1.4	38	500	1	19000
2024/12/17	522	43.1	8.62%	1.5	45	500	1	22500
2024/12/18	504	37.7	7.54%	1.4	38	500	1	19000
2024/12/19	497	46.2	9.26%	1.4	46	500	1	23000

▼月別 ファイル名：サイト全体_月別.XXXXXXXXXX.csv

日付	SS数	CV金額/SS数	CVSS到達率	回遊率	CVSS数	CVSS平均金額	CVSS平均個数	CV金額
2024年12月	8364	43.8	8.75%	1.4	732	500	1	366000
2025年1月	7520	44.5	8.91%	1.5	670	500	1	335000

効果測定画面説明 アカウント概要(3/5)

下記の手順でレコメンド全体に関わる数値の概要をエクスポートすることができます。

レコメンド全体



レコメンド全体 CSVエクスポート 設定

出力する期間を選択

出力期間

☒ 時間別
☐ 日別
☐ 月別

ユーザーグループによる絞り込み

ユーザーグループの絞り込み

☒ 絞り込まない
☐ 恒久
☐ セッション

②

キャンセル OK

②各項目を任意で選択し、「エクスポート」ボタンをクリックする

集計項目

以下の項目が集計されます。

- IMPSS数
- RecCV金額/IMPSS数
- RecMCV金額/IMPSS数
- RecCVSS到達率
- RecMCVSS到達率
- SS平均IMPV数
- RecCVSS数
- RecMCVSS数
- SSCTR
- SSCVR
- RecMSSCVR
- RecCVSS平均金額
- RecMCVSS平均金額
- RecCVSS平均個数
- RecMCVSS平均個数
- RecCV金額
- RecMCV金額
- CLSS数

CSV出力ファイル

※ファイル名のXは出力日時が入ります

▼日別 ファイル名: レコメンド全体_日別.XXXXXXXXXX.csv

日付	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IMI	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS	RecMCVSS	RecCVSS	RecMCVSS	RecCV金額	RecMCV金額	CLSS数
2024/12/15	261	76.6	76.6	11.88%	11.88%	1	31	31	48.66%	24.41%	24.41%	645.2	645.2	1.3	1.3	20000	20000	127
2024/12/16	375	125.3	125.3	11.73%	11.73%	1	44	44	41.07%	28.57%	28.57%	1068.2	1068.2	2.1	2.1	47000	47000	154
2024/12/17	425	214.1	214.1	13.65%	13.65%	1	58	58	44.94%	30.37%	30.37%	1569	1569	3.1	3.1	91000	91000	191
2024/12/18	394	270.3	270.3	12.18%	12.18%	1	48	48	39.85%	30.57%	30.57%	2218.8	2218.8	4.4	4.4	106500	106500	157

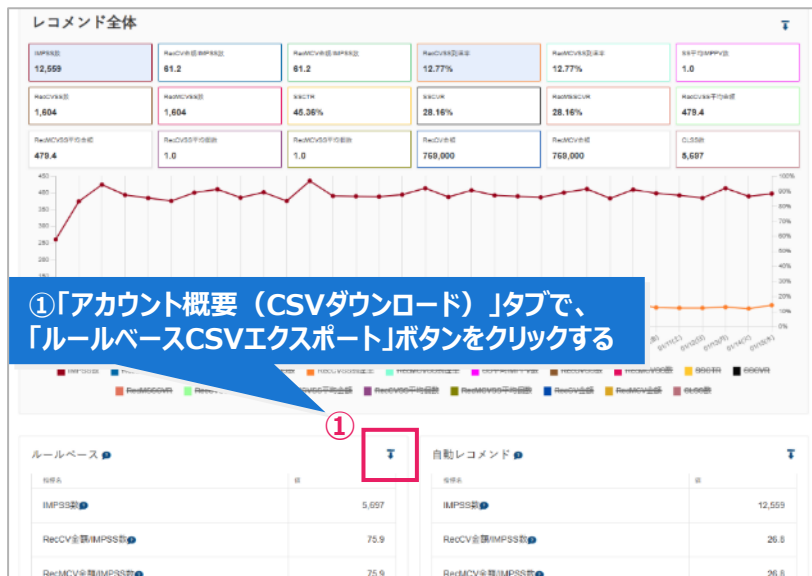
▼月別 ファイル名: レコメンド全体_月別.XXXXXXXXXX.csv

日付	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IMI	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS	RecMCVSS	RecCVSS	RecMCVSS	RecCV金額	RecMCV金額	CLSS数
2024年12月	6607	65.7	65.7	12.68%	12.68%	1	838	838	44.92%	28.23%	28.23%	517.9	517.9	1	1	434000	434000	2968
2025年1月	5952	129.2	129.2	12.87%	12.87%	1	766	766	45.85%	28.07%	28.07%	1003.9	1003.9	2	2	769000	769000	2729

効果測定画面説明 アカウント概要(4/5)

下記の手順でルールベースレコメンドに関わる数値の概要をエクスポートすることができます。

ルールベース



ルールベース CSVエクスポート設定

エクスポート対象を絞り込み

☒ 絞り込まない
☐ キャンペーン
☐ Web/アプリレコメンド場所

出力する期間を選択

☒ 時間別
☒ 日別
☐ 月別

② **エクスポート**

選択する項目により、目的に応じたCSVファイルを出力できます

対象を絞り込み

出力期間

②各項目を任意で選択し、「エクスポート」ボタンをクリックする

集計項目

以下の項目が集計されます。

- IMPSS数
- RecCV金額/IMPSS数
- RecMCV金額/IMPSS数
- RecCVSS到達率
- RecCVSS到達率
- SS平均IMPV数
- RecCVSS数
- RecMCVSS数
- SSCTR
- SSCVR
- RecMSSCVR
- RecCVSS平均金額
- RecMCVSS平均金額
- RecCVSS平均個数
- RecMCVSS平均個数
- RecCV金額
- RecMCV金額
- CLSS数

CSV出力ファイル

※ファイル名のXは出力日時が入ります

▼日別 ファイル名：ルールベース_日別.XXXXXXXXXX.csv

日付	レコメンド場所	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IMI	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS ²	RecMCVSS ²	RecCVSS ³	RecMCVSS ³	RecCV金額	RecMCV金額	CLSS数
2024/12/15	ルールベースレ	83	120.5	120.5	20.48%	20.48%	1	17	17	20.48%	100.00%	100.00%	588.2	588.2	1.2	1.2	10000	10000	17
2024/12/15		44	0	0	0.00%	0.00%	1	0	0	100.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	44
2024/12/16	ルールベースレ	108	240.7	240.7	21.30%	21.30%	1	23	23	21.30%	100.00%	100.00%	1130.4	1130.4	2.3	2.3	26000	26000	23
2024/12/16		46	0	0	0.00%	0.00%	1	0	0	100.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	46
2024/12/17	ルールベースレ	129	368.2	368.2	24.03%	24.03%	1	31	31	24.03%	100.00%	100.00%	1532.3	1532.3	3.1	3.1	47500	47500	31

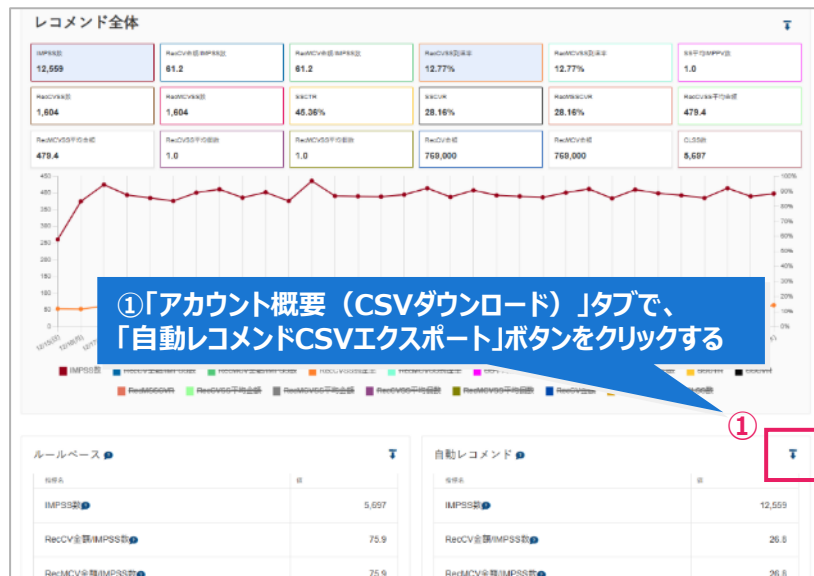
▼月別 ファイル名：ルールベース_月別.XXXXXXXXXX.csv

日付	レコメンド場所	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IMI	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS ²	RecMCVSS ²	RecCVSS ³	RecMCVSS ³	RecCV金額	RecMCV金額	CLSS数
2024年12月		987	0	0	0.00%	0.00%	1	0	0	100.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	987
2024年12月	ルールベースレ	1981	123.7	123.7	23.02%	23.02%	1	456	456	27.06%	85.07%	85.07%	537.3	537.3	1.1	1.1	245000	245000	536
2025年1月	ルールベースレ	1801	240.1	240.1	22.71%	22.71%	1	409	409	28.21%	80.51%	80.51%	1057.5	1057.5	2.1	2.1	432500	432500	508
2025年1月		928	0	0	0.00%	0.00%	1	0	0	100.00%	0.00%	0.00%	0	0	0	0	0	0	928

効果測定画面説明 アカウント概要(5/5)

下記の手順で自動レコメンドに関わる数値の概要をエクスポートすることができます。

自動レコメンド



自動レコメンド CSVエクスポート設定

エクスポート対象を絞り込み

☒ 絞り込まない
☐ レコメンド方法
☐ Web/アプリレコメンド場所

出力する期間を選択

☐ 時間別
☐ 日別
☒ 月別

② **エクスポート**

選択する項目により、目的に応じた CSVファイルを出力できます

対象を絞り込み

出力期間

②各項目を任意で選択し、「エクスポート」ボタンをクリックする

集計項目

以下の項目が集計されます。

- IMPSS数
- RecCV金額/IMPSS数
- RecMCV金額/IMPSS数
- RecCVSS到達率
- RecCVSS到達率
- SS平均IMPV数
- RecCVSS数
- RecMCVSS数
- SSCTR
- SSCVR
- RecMSSCVR
- RecCVSS平均金額
- RecMCVSS平均金額
- RecCVSS平均個数
- RecMCVSS平均個数
- RecCV金額
- RecMCV金額
- CLSS数

CSV出力ファイル

※ファイル名のXは出力日時が入ります

▼日別 ファイル名: 自動レコメンド_日別.XXXXXXXXXX.csv

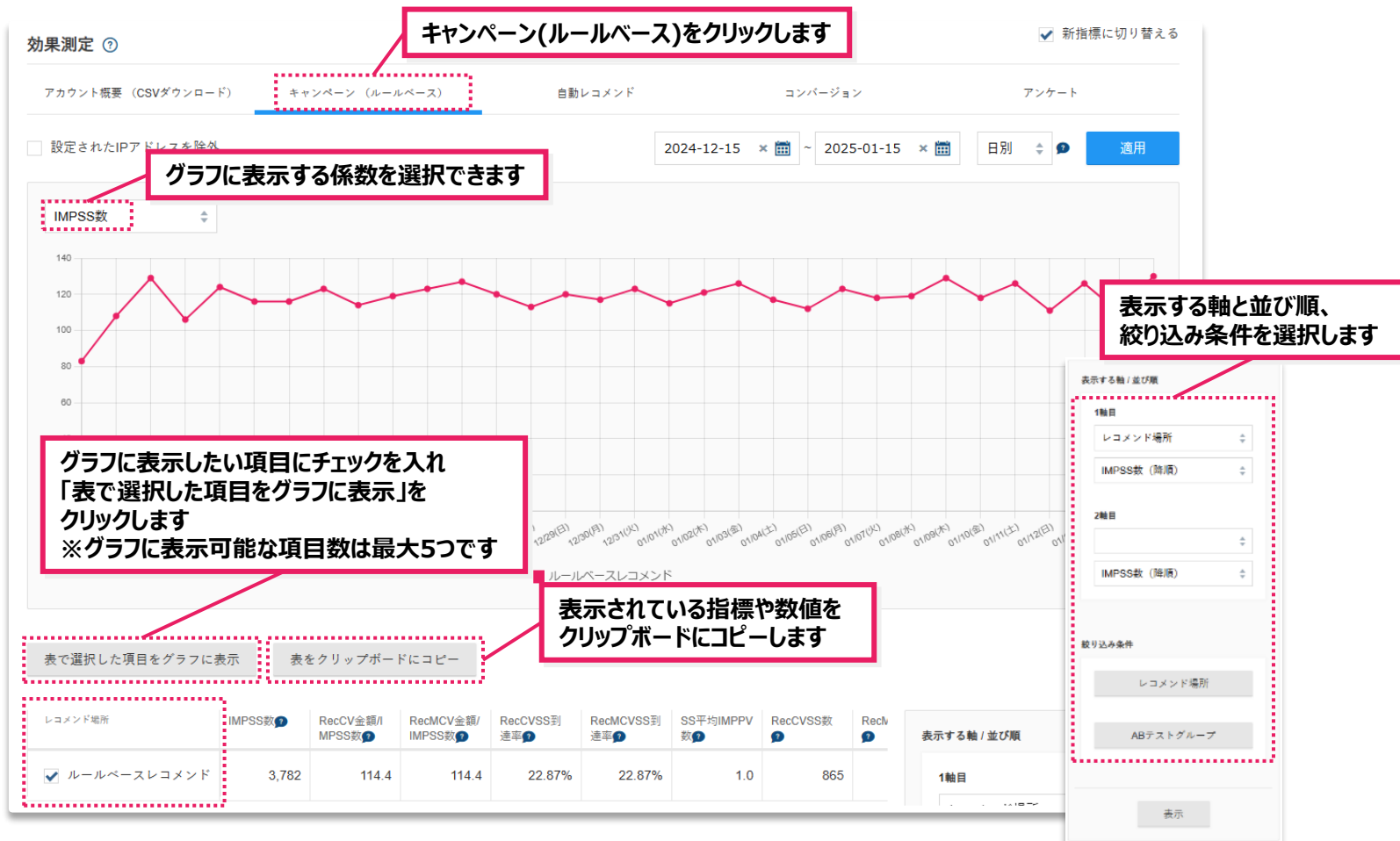
日付	レコメンド場所	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IM	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS	RecMCVSS	RecCVSS	RecMCVSS	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	CLSS数
2024/12/15	自動レコメンド	261	38.3	38.3	5.36%	5.36%	1	14	14	25.67%	20.90%	20.90%	714.3	714.3	1.4	1.4	10000	10000	67		
2024/12/16	自動レコメンド	375	56	56	6.13%	6.13%	1	23	23	24.53%	25.00%	25.00%	913	913	1.8	1.8	21000	21000	92		
2024/12/17	自動レコメンド	425	102.4	102.4	7.53%	7.53%	1	32	32	27.53%	27.35%	27.35%	1359.4	1359.4	2.7	2.7	43500	43500	117		
2024/12/18	自動レコメンド	394	116.8	116.8	5.84%	5.84%	1	23	23	23.35%	25.00%	25.00%	2000	2000	4	4	46000	46000	92		
2024/12/19	自動レコメンド	385	148.1	148.1	7.27%	7.27%	1	28	28	26.75%	27.18%	27.18%	2035.7	2035.7	4.1	4.1	57000	57000	103		

▼月別 ファイル名: 自動レコメンド_月別.XXXXXXXXXX.csv

日付	レコメンド場所	IMPSS数	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	SS平均IM	RecCVSS	RecMCVSS	SSCTR	SSCVR	RecMSSC	RecCVSS	RecMCVSS	RecCVSS	RecMCVSS	RecCV金額	RecMCV金額	RecCVSS	RecMCVSS	CLSS数
2024年12月	自動レコメンド	6607	28.6	28.6	6.72%	6.72%	1	444	444	25.62%	26.23%	26.23%	425.7	425.7	0.9	0.9	189000	189000	1693		
2025年1月	自動レコメンド	5952	56.5	56.5	7.04%	7.04%	1	419	419	25.99%	27.08%	27.08%	803.1	803.1	1.6	1.6	336500	336500	1547		

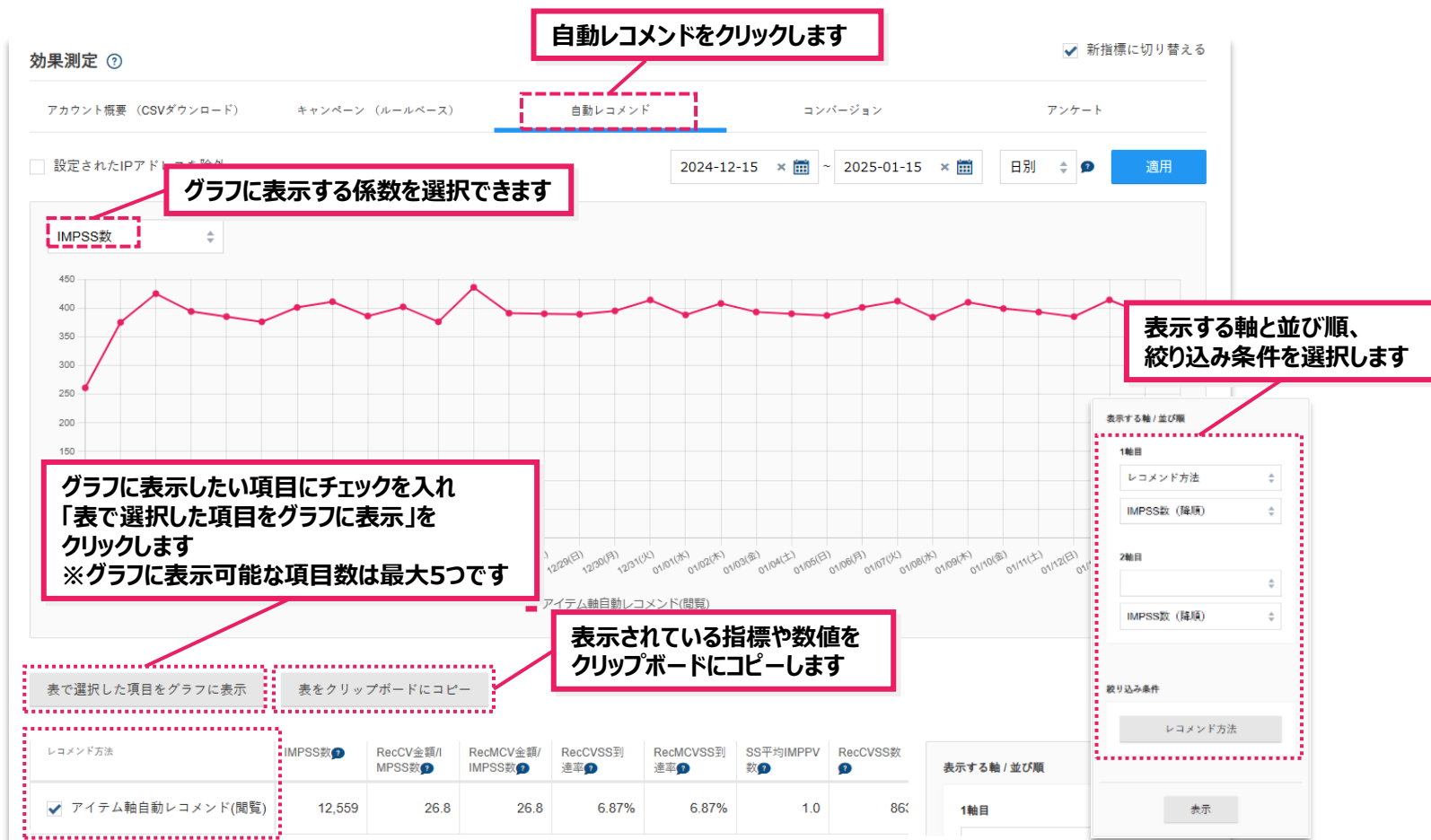
効果測定画面説明 キャンペーン（ルールベース）

キャンペーン(ルールベース)



効果測定画面説明 自動レコメンド

自動レコメンド



効果測定画面説明 コンバージョン

コンバージョン



効果測定画面説明 アンケート（1/2）

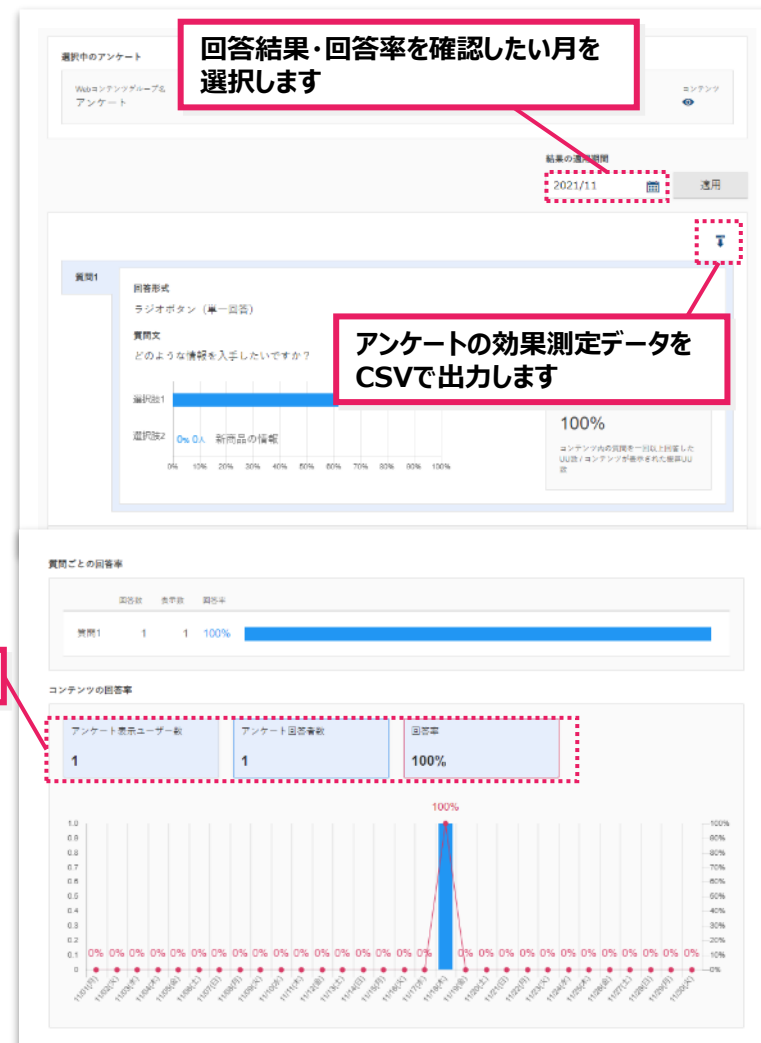
アンケート

アンケートをクリックします



回答結果・回答率を確認したいWeb
コンテンツグループ名を選択します

グラフに表示する集計項目を指定します



効果測定画面説明 アンケート（2/2）

アンケート

設問ごと、回答ごとの結果を出力できます

① 効果測定のアンケートタブを選択し、結果を出力したいWebコンテンツグループ名を選択する

Webコンテンツグループ名	アンケート	2021/11/14	50%	2	4	0	0	0
アンケート	情報希望アンケート	2021/11/18	100%	1	1	0	1	+1

② 結果を出力したい月を適用期間に設定し、「アンケートCSVダウンロード」ボタンをクリックする

結果の適用期間
2021/11

出力期間
☒ 月別
☐ 日別

キャンセル OK

③ 出力する期間を選択し、「OK」ボタンをクリックする

コンバージョン集計項目

以下の項目が集計されます。

- ・集計の終了日
- ・Webコンテンツグループ名
- ・アンケート名
- ・Webレコメンド場所
- ・Webレコメンドルール
- ・アンケート表示ユーザー数
- ・アンケート回答者数
- ・回答率
- ・質問文 or 画像URL
- ・回答形式
- ・質問ごとの回答数
- ・選択肢
- ・選択肢ごとの回答数

CSV出力ファイル

※ ○は適用期間の年月、Xは出力日時が入ります

ファイル名：アンケート_日別_○○○○.XXXXXXX.csv

集計の終了					Webコンテンツグループ名	Webレコメ	Webレコメ/アンケート	アンケート	回答率	質問文 or 回答形式	質問ごとの選択肢	選択肢ごとの回答数
2021/11/1	アンケート	情報希望	ポップアップ	情報入手	10		5	50.00%	どのような単一回答		5 キャンペー	2
2021/11/1	アンケート	情報希望	ポップアップ	情報入手	10		5	50.00%	どのような単一回答		5 新商品の	3
2021/11/2	アンケート	情報希望	ポップアップ	情報入手	14		10	71.42%	どのような単一回答		10 キャンペー	4
2021/11/2	アンケート	情報希望	ポップアップ	情報入手	14		10	71.42%	どのような単一回答		10 新商品の	6
2021/11/3	アンケート	情報希望	ポップアップ	情報入手	13		13	100.00%	どのような単一回答		13 キャンペー	7

トラッキング確認方法



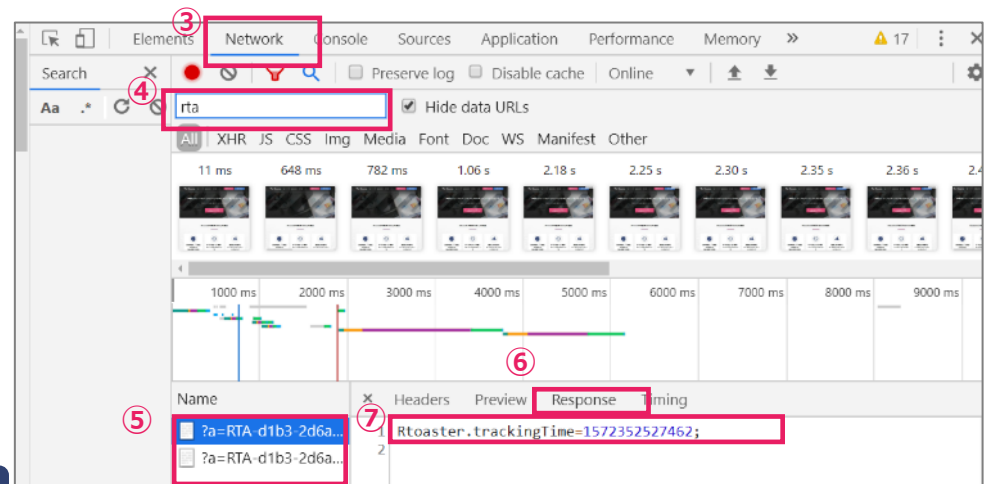
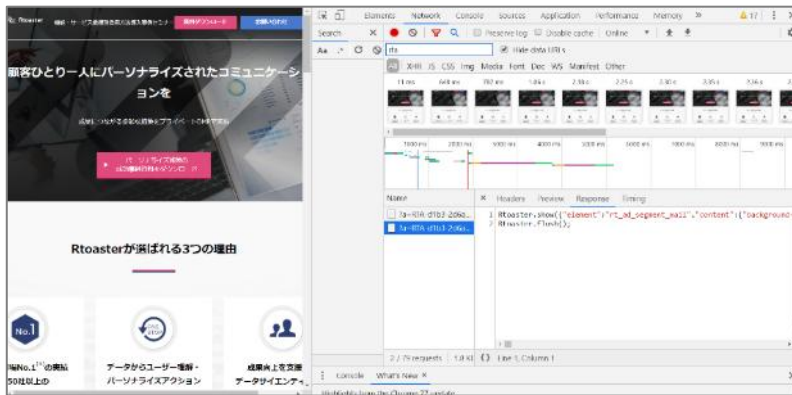
Rtoaster
action+

トラッキング確認方法

確認手順

- ① Chromeでデベロッパーツールを表示する（「F12」キーを押下）
- ② 対象ページにアクセスする
- ③ 「Network」タブをクリック
- ④ 検索ボックスに「rta」と入力
- ⑤ 1つ目の「?a=RTA-XXXX-XXXX」（トラッキングID）が表示されていることを確認し、クリック
- ⑥ 「Response」タブをクリック
- ⑦ Rtoaster.trackingTime=数字;が表示されていることを確認

WebサイトとChromeのデベロッパーツール画面



トラッキングが確認できない場合に考えられる要因

- ✓ トラッキングIDの間違い
- ✓ GTMなどのタグマネージャーで実装している場合、GTM内での読み込み順の関係でトラッキングされていない

レコメンド確認方法



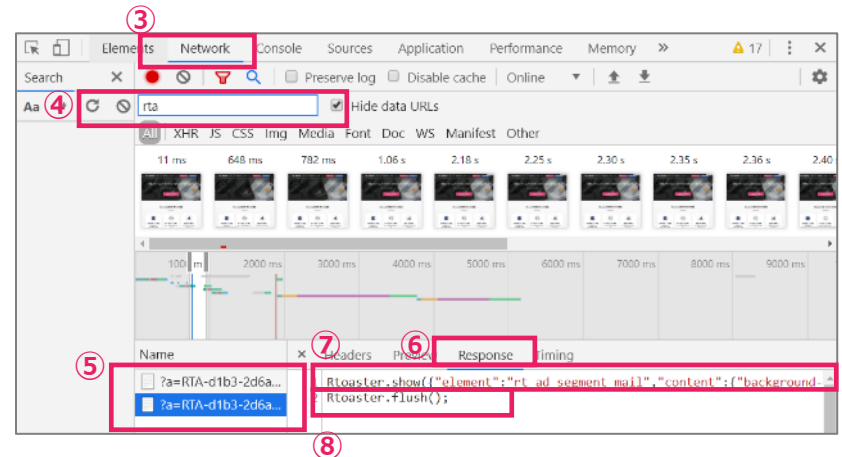
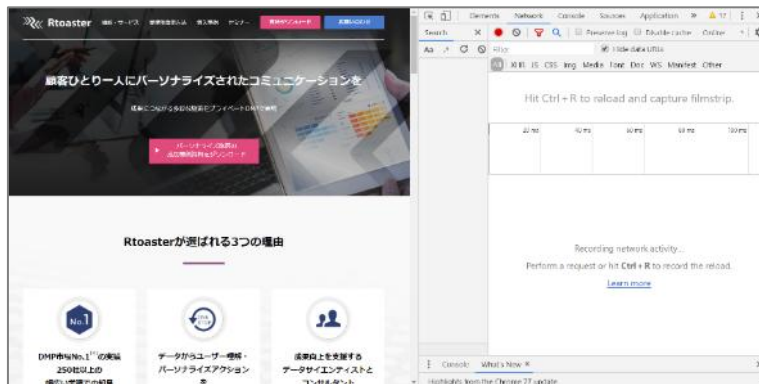
Rtoaster
action+

レコメンド確認方法

確認手順

- ① Chromeでデベロッパーツールを表示する（「F12」キーを押下）
- ② 対象ページにアクセスする
- ③ 「Network」タブをクリック
- ④ 検索ボックスに「rta」と入力
- ⑤ 2つ目の「?a=RTA-XXXX-XXXX」（トラッキングID）が表示されていることを確認し、クリック
- ⑥ 「Response」タブをクリック
- ⑦ Rtoaster.show()がレコメンドコンテンツの数だけ表示されていることを確認
- ⑧ Rtoaster.flush()と表示されていることを確認

WebサイトとChromeのデベロッパーツール画面



レコメンドが確認できない場合

レコメンドが確認できない場合に考えられる要因

- ✓ 管理画面で設定している「条件」が誤っている
- ✓ 「レコメンド条件」に当てはまっていない
- ✓ レコメンドコードが誤っている

[TOP > アクション・効果測定 > Web設定 > Webレコメンド設定 > 該当のレコメンド場所クリック > 保存してレコメンドルール設定]

Webレコメンドルール一覧

有効なレコメンドルールが上から順番に評価されます。順番をドラッグアンドドロップで入れ替えることができます

登録件数: 10 / 100

ルール評価順	ルール名	条件	コンテンツ	ステータス
1	ポップアップテンプレートテスト	リクエストパラメータ「popup」が「template」に一致する	ポップアップコンテンツグループ ポップアップテンプレートテスト	...
2	MPPRODUCT-1181 代理店/バナー(スコア391)	「2019年01月21日00時00分」から「2019年02月01日23時59分」まで有効 対象ページが「/(?=.*/cases).*/\$」または「/(?=.*/industries).*/\$」の正規表現に一致する グループ「どこどこJP - 業種小分類」内の累積スコア「391.ソフトウェア業」が1ポイント以上	ポップアップコンテンツグループ MPPRODUCT-1181 代理店/バナー (送客数増加)	...

レコメンドルール条件に当てはまっているか確認

[TOP > その他 > Rtoasterタグ取得]

Rtoasterレコメンドコード

※下記のコードをウェブサイトのレコメンドを実施するページの</body>終了タグの直前に貼り付けてください。
ポップアップレコメンドを実施する場合、「ポップアップコード」にチェックを入れた状態のコードを貼り付けてください

全ページ - ポップアップ -

RTOASTERGO-584 GA連携

【広告連携】興味KW: メール

含めるコードの種類 (オプション)

☒ ポップアップコード ☐ カラゴシ取得コード ☐ 価格フィルタ ☐ 自動レコメンドコード

```
<script type="text/javascript" src="//js.rtoaster.jp/Rtoaster.Popup.js"></script>
<script type="text/javascript">
  Rtoaster.Popup.register("rt_popup");
  Rtoaster.recommendNow("rt_popup","rtoastergo584",
    "elemnt","tttt","test","kikuchi_popup1","ttttttt","k
```

ポップアップの場合は、「ポップアップコード」にチェックを入れ、対象のWebレコメンド場所名を選択して、レコメンドコードを取得します

Cookie削除方法



Rtoaster
action+

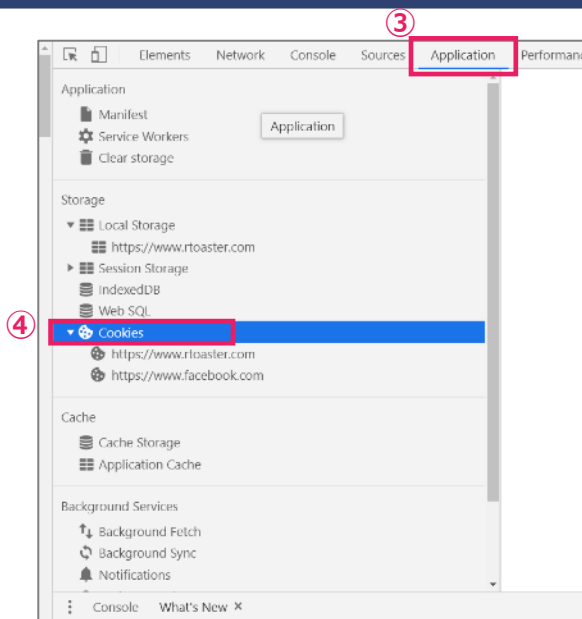
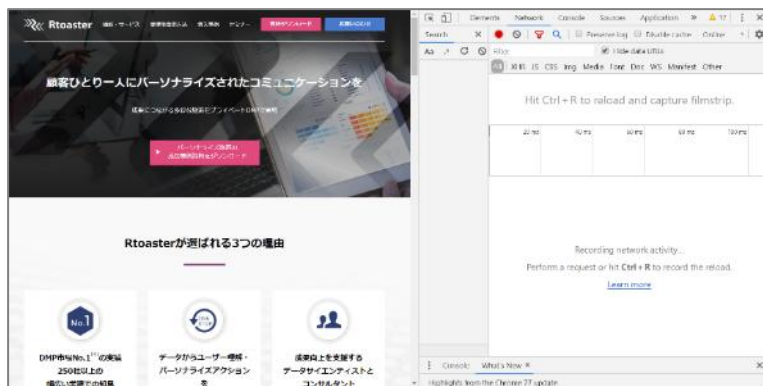
Cookie削除方法

フリークエンシー設定（1セッションあたり1回表示など）をしている場合、レコメンド表示確認時に必要な作業になります。

確認手順

- ① Chromeでデベロッパーツールを表示する（「F12」キーを押下）
- ② 対象ページにアクセスする
- ③ 「Application」タブをクリック
- ④ 左メニュー「Cookies https://www.xxx.co.jp」（webサイトURL）」を右クリック
- ⑤ 「Clear」を押下

WebサイトとChromeのデベロッパーツール画面





株式会社ブレインパッド

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目1番1号 六本木ティーキューブ

TEL : 03-6721-7002 FAX : 03-6721-7010

www.brainpad.co.jp info@brainpad.co.jp

本資料は、未刊行文書として日本及び各国の著作権法に基づき保護されております。本資料には、株式会社ブレインパッド所有の特定情報が含まれており、これら情報に基づく本資料の内容は、御社以外の第三者に開示されること、また、本資料を評価する以外の目的で、その一部または全文を複製、使用、公開することは、禁止されています。また、株式会社ブレインパッドによる書面での許可なく、それら情報の一部または全文を使用または公開することは、いかなる場合も禁じられております。